

令和6年度 第1回定時理事会

会 議 次 第

令和6年6月11日（火）14時00分～

事務局 共用会議室（日本パーティビル地下会議室）

1 開 会

2 議事録署名人の確認

3 審 議 事 項

第1号議案 令和5年度事業報告及び決算について

第2号議案 評議員会の開催並びに議事に付すべき事項について

第3号議案 任期満了に伴う次期評議員候補者の推薦について

4 報 告 事 項

（1）理事長及び常務理事の職務執行状況について

（2）デフリンピックスクエアについて

（3）東京 2025 デフリンピック応援隊の結成について

（4）理事候補者選任方針について

5 そ の 他

6 閉 会

理 事 会
第 1 号 議 案

令和 5 年度事業報告及び決算について

下記のとおり議案を提出する。

記

1 議案内容

別添、令和 5 年度事業報告書及び決算書（案）のとおりとする。

令和 6 年 6 月 1 1 日

提 出 者 公益財団法人 東京都スポーツ文化事業団
理 事 長 塩 見 清 仁

提 案 理 由

定款第 8 条第 1 項の規定に基づき承認を求める。

令和 5 年 度

事業報告書及び決算書

令和 6 年 6 月

公益財団法人 東京都スポーツ文化事業団

目 次

《 事業報告書 》

I 法人の概要

1 設立等年月日	3
2 事業の概要	3

II 令和5年度の事業の概要	4
----------------	---

III 事業別概要

1 公1事業(スポーツ活動等の振興、普及啓発に関する事業)	5
2 公2事業(2025年デフリンピック大会の準備・運営事業)	7
3 収益事業等	8

IV 組織の運営

1 令和5年度組織図	9
2 役員会等の活動	10

《 附属明細書 》

I 公1事業(スポーツ活動等の振興、普及啓発に関する事業)

1 スポーツ活動等に親しむ場の提供事業	16
2 スポーツ活動等に親しむことができる機会の提供事業	22
3 スポーツ国際交流事業を通じた次世代のスポーツ選手の育成	35

II 公2事業(2025年デフリンピック大会の準備・運営事業)

1 2025年デフリンピック大会開催に向けての準備・運営事業	36
--------------------------------	----

III 収益事業等

1 各体育施設におけるスポーツ活動以外の主な実績	37
2 利用者サービス事業	37

IV その他

1 事業体系	38
2 役員名簿	39
3 人事等	40
4 職員数	40

《 決算書 》

1 貸借対照表	43
2 貸借対照表内訳表	44
3 正味財産増減計算書	46
4 正味財産増減計算書内訳表	48
5 財務諸表に対する注記	52
6 附属明細書	54
7 財産目録	55
8 <参考>キャッシュ・フロー計算書	57

令和 5 年度

事業報告書

I 法人の概要

1 設立等年月日

昭和 55 年	7 月 1 日	財団法人東京都埋蔵文化財センター設立
昭和 60 年	10 月 1 日	財団法人東京都教育振興財団設立
昭和 63 年	4 月 1 日	財団法人東京都教育振興財団と財団法人東京都埋蔵文化財センターは、統合により「財団法人東京都教育文化財団」となる。
平成 11 年	4 月 1 日	財団法人東京都教育文化財団と財団法人都民カレッジは、統合により「財団法人東京都生涯学習文化財団」となる。
平成 19 年	4 月 1 日	法人の名称を「財団法人東京都スポーツ文化事業団」とする。
平成 24 年	4 月 1 日	公益法人制度改革関連三法の施行に伴い、公益財団法人に移行し、「公益財団法人東京都スポーツ文化事業団」となる。
令和 5 年	3 月 31 日	埋蔵文化財事業は事業移管のため終了

2 事業の概要

都民の生涯にわたるスポーツ等の普及振興を図り、もって、都民の文化的生活の向上に寄与することを目的として、以下の事業を行う。

- (1) スポーツ等の振興
- (2) 東京都及びその関係団体から受託するスポーツ等に関する事業
- (3) 東京都の施設等の管理運営
- (4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業
- (5) 上記各項目の公益目的事業の推進に資するための収益事業等

Ⅱ 令和５年度の事業の概要

当事業団の基幹事業である指定管理事業については、令和５年度より新たな指定管理期間（令和９年度までの５年間）が始まり、東京体育館、駒沢オリンピック公園総合運動場、東京武道館、東京アクアティクスセンターの４施設を、これまでに蓄積されたノウハウと高い専門性を活かし、適切に管理運営した。

令和５年５月８日から、新型コロナウイルス感染症が感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の５類感染症に位置付けられたことから、各施設ともほぼ通常の運営状況となった。また、東京体育館・駒沢オリンピック総合運動場・東京武道館の３施設は、施設利用料を改定して、８月１日から料金表に適用した。

施設の利用貸出事業としては、東京体育館では「ISU 世界フィギュアスケート国別対抗戦 2023」など、駒沢オリンピック公園総合運動場では「WBSC 2023 U-15 Women's Softball World Cup」など、東京武道館では「第 51 回全日本空手道選手権大会」など、東京アクアティクスセンターでは、再開業を迎え「国際大会代表選手選考会」などの大規模・国際大会等の開催・運営をサポートした。

各スポーツ施設における個人利用施設の利用者数については、東京体育館、駒沢オリンピック公園総合運動場及び東京武道館の各トレーニングルーム等において、前年度よりも増加し、回復傾向となった。

スポーツの振興については、スポーツ実施率の向上や東京 2020 大会のレガシーの活用等を目的に実施している「スポーツ東京案内事業」において、WEB サイト「SPOPITA」のスポーツ施設情報・スポーツイベント情報の情報量拡充、新規コンテンツの制作、SNS による発信力の強化などを実施した。併せて、専門的な知識や実践経験の豊富な事業者を活用し、今まで不足していたメディアリレーションを強化することで、当事業団の広報力の強化と認知度の向上を図った。

東京 2020 大会の開催がもたらしたスポーツ気運の高まりを引き継ぐ「スポーツ気運継承事業」では、SPOPITA と連動した取組として、都民のスポーツイベント等への参加を促進するキャンペーン「SPOPITA スタンプラリー」を展開した。さらに、都立スポーツ施設の魅力等を発信し、認知度の向上や国際大会の誘致など、多様な利用促進に繋げることを目的に、都立スポーツ全 18 施設の一体的な広報として「東京都立スポーツ施設デジタルガイドブック " 18FACILITIES" 」を制作・公開した。

また、パラスポーツの普及を目的として、特別支援学校をパラスポーツの拠点のひとつとして活用する「都立特別支援学校活用促進事業」は、対象校を拡大し実施した。そのほか、ガイドウォーク等を導入した「TOKYO ウォーク 2023」等の各種事業を実施した。

加えて、当事業団は第 25 回夏季デフリンピック競技大会 東京 2025（以下「東京 2025 デフリンピック」という。）の準備・運営の一部を担う組織として、適切なガバナンス体制の整備に向け取組を進めた。また、大会成功に向けた基礎プランニングフェーズとして、大会の準備・運営がスムーズに行われるよう、大会概要や開催基本計画等を策定した。

都の各政策連携団体が３年間で重点的に進めていくべき経営改革の取組を示す中期的な計画である「東京都政策連携団体経営改革プラン」の第２期プランについて最終年度とし

て各種課題解決に向けた取組を実施した。また、東京都政策連携団体としてグループ連携事業評価の事業目標を新たに定め、各種取組を着実に実施した。

令和5年度決算は、各スポーツ施設等についてほぼ通常の運営状況に回復したことや、各事業に積極的に取り組みながらも、事業内容を精査し、経費の縮減を図ったことなどにより、事業団全体としての当期経常増減額は125,955千円余の増となり、6期に渡る赤字が解消した。

Ⅲ 事業別概要

1 公1事業（スポーツ活動等の振興、普及啓発に関する事業）

（1）スポーツ活動等に親しむ場の提供事業

- 東京体育館、駒沢オリンピック公園総合運動場、東京武道館及び東京アクアティクスセンターにおいて、利用者の視点に立った安全・安心な管理運営を行った。

- 施設の稼働率、個人利用者数、満足度調査の結果は以下のとおりであった。

稼働率	96.6%
個人利用者数	549,999人
満足度調査結果	94.9%が満足

※ 稼働率及び個人利用者数は、東京アクアティクスセンターを除く。

- 東京体育館における「健康体力相談事業」は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け縮小していた開設日数を100日に戻し、10月には肺機能検査及び全身持久力測定相談の直接法を再開した。また、東京武道館において、武道に関する指導・助言及び相談に応じる「武道相談事業」を実施した。

（2）スポーツ活動等に親しむことができる機会の提供事業

- スポーツ振興事業は、東京都のスポーツ推進施策に基づき、子供から高齢者まで、また障害の有無や体力の程度にかかわらず、誰もが生涯を通じてスポーツに親しみ、スポーツを楽しむことができるよう先導的・広域的な取組として93事業を実施した。

- ・ 東京体育館「シニアのためのスポーツクリニック」、「パラスポーツ体験講座」、「スポーツボランティア入門講座」等27事業

- ・ 駒沢オリンピック公園総合運動場「ランニングクリニック」等12事業

- ・ 東京武道館「女性のための武道体験」、「広域合同稽古」等34事業

- ・ 東京アクアティクスセンター「スイマーフォームクリニック」等20事業

- 自主事業は、指定管理者として、各施設の特性を生かした21事業を実施した。

- ・ 東京体育館「アスリートによる部活動等クリニック」、「スポーツビジネスセミナー」等10事業

- ・ 駒沢オリンピック公園総合運動場「ジュニアベースボール大会」、「3x3（バスケットボール）カップ」等6事業

- ・ 東京武道館「U-18将棋スタジアム」等4事業

- ・ 東京アクアティクスセンター「再開業イベント」1事業

- 周辺連携事業は、地域の魅力向上や活性化に寄与していくための取組として、

周辺施設や地域と連携して 39 事業を実施した。

- ・ 東京体育館「国立競技場大規模イベントとの連携」、「近隣施設との広報協力」等 14 事業
 - ・ 駒沢オリンピック公園総合運動場「防災フェスタ」等 6 事業
 - ・ 東京武道館「東綾瀬公園との広報連携」、「スポーツの日における近隣地区との連携」等 9 事業
 - ・ 東京アクアティクスセンター「ニュースポーツイベント」等 10 事業
- スマイル自主事業については、スポーツ等普及事業で、都民がスポーツを楽しむきっかけづくりや、スポーツを通じた地域貢献を目的とした「島しょ地区スポーツ・文化普及事業」など、5 事業を実施した。

広報活動では、都民により親しみを持ってもらえるよう、事業団のマスコットキャラクター「SUSIE（スージー）」を活用した。また、事業団広報誌を年 4 回発行したほか、事業団公式 Instagram、X（旧 Twitter）等 SNS による情報発信も積極的に行った。

- スポーツムーブメント醸成事業として、都民の健康づくりや東京都におけるスポーツ実施率向上を目的とした「スポーツフェスタ」や「TOKYO ウォーク 2023」を実施した。

また、障害のある方や障害者スポーツ競技団体等が、身近な地域でスポーツ活動ができるよう、特別支援学校をパラスポーツの拠点のひとつとして活用する「都立特別支援学校活用促進事業」は対象校を 29 校から 31 校に拡大し実施した。

さらに、スポーツ実施率の向上や東京 2020 大会のレガシーの活用等を目的として実施している「スポーツ東京案内事業」を拡充し、WEB サイト「SPOPITA」のスポーツ施設情報・スポーツイベント情報の情報量拡充、新規コンテンツの制作、SNS による発信力の強化などを実施した。また、区市町村等に対する指導者派遣は、国際大会等の出場経験があるアスリートを指導者とするアスリート派遣の検討を行い、実施につなげた。

加えて、東京 2020 大会の開催がもたらしたスポーツ気運の高まりを引き継ぐ「スポーツ気運継承事業」を実施し、SPOPITA と連動した取組として、都民のスポーツイベント等への参加を促進するキャンペーン「SPOPITA スタンプラリー」を展開した。併せて、メディアリレーション及び広報戦略の知見を有する民間アドバイザーと連携し、当事業団の広報力の強化と認知度向上を図った。

そのほか、企業におけるスポーツの取組に対する意欲やスポーツ実施率の向上に寄与することを目的として実施している「スポーツ推進企業 Enjoy Sports 促進事業」については、スポーツ推進企業に直接アプローチするなどの取組により、企業に対するインストラクター等派遣の利用増につなげた。

当事業団の指定管理施設を含む、都立スポーツ施設の予約等が一体的に行える「東京都スポーツ施設予約システム」については、対象施設を増やし、管理・運用を適切に実施した。

大会等の撮影・配信によって新たなスポーツ観戦の機会を提供する「映像配信システム」については、各都立スポーツ施設においてテスト撮影・配信を実施した。

また、シニア世代による地域コミュニティ等での交流を促進する「東京都シニア・コミュニティ交流大会」を実施した。

- 都立スポーツ施設連携促進事業については、都立スポーツ全 18 施設の利用に関する総合的な窓口として「TOKYO スポーツ施設コンシェルジュ」を開設した。

また、都民等に各施設での競技観戦・スポーツ体験会の機会等を提供し、広く施設に親しんでいただくため「都立スポーツ施設周遊バスツアー」を企画・実施した。

- スポーツの日記念事業は、各スポーツ施設のトレーニングルーム等を無料開放したほか、東京体育館では「スポーツフェスタ 2023 in 東京体育館」、駒沢オリンピック公園総合運動場では「スポーツの日記念事業 KOMA すぽ 2023」、東京武道館では「武道・スポーツフェスティバル 2023」、東京アクアティクスセンターでは「アクアスポーツフェスティバル」をそれぞれ実施した。

(3) スポーツ国際交流事業を通じた次世代のスポーツ選手の育成事業

- スポーツ国際交流事業では、「2023 東京国際ユース (U-14) サッカー大会」を実施するとともに、バドミントン及び卓球のジュニア (中学生) 世代の選手並びにパラアスリートを招待して「2023 ジュニアスポーツアジア交流大会」を実施した。両大会の開催に当たっては、東日本大震災復興支援の一環として、被災地 4 県から選手団を招待した。「柔道指導者派遣事業」では、マニラ市 (フィリピン) に柔道指導者を派遣した。

2 公 2 事業 (2025 年デフリンピック大会の準備・運営事業)

(1) 2025 年デフリンピック大会開催に向けた準備・運営事業

- 東京 2025 デフリンピックの準備・運営事業を通じて、将来の国際大会や競技団体の支援に活用可能な大会運営のノウハウや経験を蓄積するため、大会の招致主体である一般財団法人全日本ろうあ連盟及び大会運営を支援する東京都と連携し、準備業務を進めた。
- 運営に関わる全日本ろうあ連盟、東京都及び事業団は、大会の基本情報として、大会ビジョン、大会名称及び競技会場等の主要な事項について取りまとめた大会概要を 8 月に公表した。また、大会概要の内容に加えて、競技や会場の運営など、大会開催に向けた必要な準備やサービスレベルの考え方を示した開催基本計画を 11 月に公表した。
- 国の指針や都のガイドラインを踏まえ、国際スポーツ大会の運営組織として適切なガバナンス体制の整備に向け取組を進めた。
 - ・ コンプライアンス委員会の設置及びコンプライアンス研修の継続的な実施
 - ・ 利益相反マネジメントポリシーの作成及び利益相反マネジメント委員会の設置
 - ・ 公益通報窓口、懲戒処分審査体制の整備、三様監査の実施
 - ・ 契約・調達管理会議への契約案件付議
- 開催基本計画の考え方にに基づき、競技会場等の借用調整や競技運営方法等の検討を行うとともに、大会で提供する各種サービスのオペレーションの検討を実施した。
 - ・ 競技要項の作成、競技・会場運営計画の検討、会場所有者及び競技団体との連絡

調整

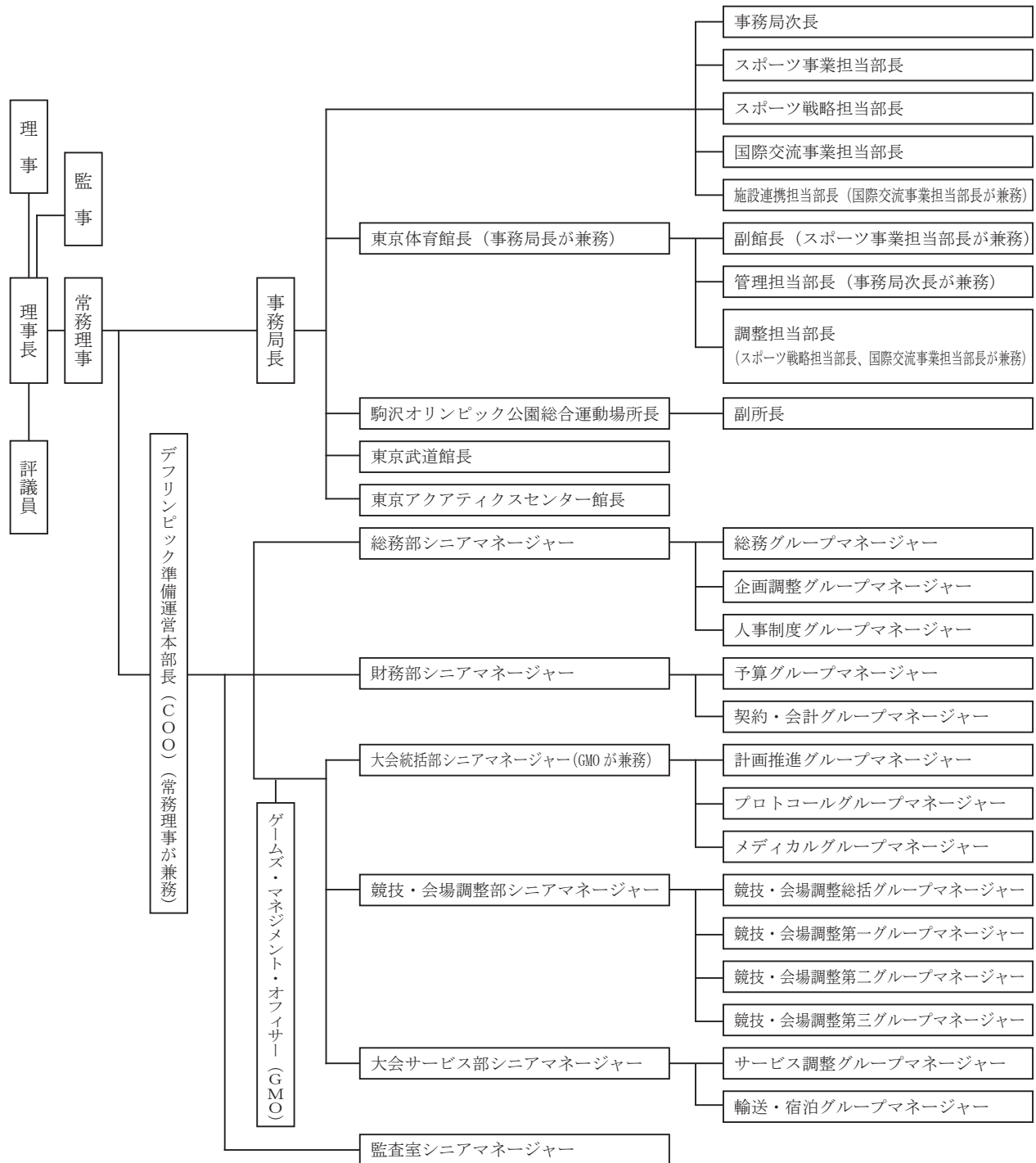
- ・ 輸送・宿泊計画の検討
 - ・ 開閉会式の企画・検討
 - ・ 表彰式、メダル製作の検討
 - ・ 会場警備、飲食、医療救護、ドーピング、清掃等各種会場オペレーションの検討
- 東京 2025 デフリンピックの開催準備や大会運営のため、個人や企業・団体からの寄附・協賛の募集を 3 月から開始した。
- 当事業団は、大会の競技会場として使用される東京体育館、駒沢オリンピック公園総合運動場、東京武道館及び東京アクアティクスセンターの指定管理者である。この指定管理者制度において培った運営のノウハウ・経験や、国内競技団体等と連携して国際交流事業や各種大会を実施してきた豊富な経験をいかし、全日本ろうあ連盟や競技団体等との調整を行い、大会の円滑な開催に向けて準備を進めた。

3 収益事業等

各施設においてレストラン、売店、自動販売機、貸ロッカー、駐車場、駐輪場の運営等の利用者サービス事業を実施したほか、施設の貸出の空き枠を活用し、二十歳の集いやコンサート等、公益目的事業以外の貸出しを実施した。

IV 組織の運営

1 令和5年度組織図



令和5年8月1日現在

2 役員会等の活動

(1) 理事会

第1回臨時理事会

(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条に基づく書面表決)

日 時 令和5年4月1日(土)

議 案 (審議事項)

第1号議案 次期理事長の選定について

第2回臨時理事会

(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条に基づく書面表決)

日 時 令和5年4月1日(土)

議 案 (審議事項)

第1号議案 利益相反取引について

第1回定時理事会

日 時 令和5年6月8日(木) 午後3時00分

会 場 東京体育館 第二会議室

議 案 (審議事項)

第1号議案 令和4年度事業報告及び決算について

第2号議案 評議員会の開催並びに議事に付すべき事項について

第3回臨時理事会

(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条に基づく書面表決)

日 時 令和5年7月14日(金)

議 案 (審議事項)

第1号議案 評議員会の開催並びに議事に付すべき事項について

第4回臨時理事会

日 時 令和5年7月28日(金) 午後4時00分

会 場 新宿NSビル 30階スカイカンファレンス ルーム5・6

議 案 (審議事項)

第1号議案 従たる事務所の設置について

第2号議案 評議員選定委員の辞任に伴う次期評議員選定委員の選任について

第3号議案 次期常務理事の選定について

第5回臨時理事会

日 時 令和5年8月21日(月) 午後3時00分

会 場 東京体育館 第三会議室

議 案 (審議事項)

第1号議案 「第25回夏季デフリンピック競技大会 東京2025 大会概要」に関する承認について

第6回臨時理事会

日時 令和5年11月8日（水）午後1時00分

会場 事務局 共用会議室

議案 （審議事項）

第1号議案 「第25回夏季デフリンピック競技大会 東京2025 大会基本計画」に関する承認について

第7回臨時理事会

日時 令和5年12月20日（水）午後1時00分

会場 事務局 共用会議室

議案 （報告事項）

大会基本計画を踏まえた今後の対応について

第8回臨時理事会

日時 令和6年3月7日（木）午前10時00分

会場 東京体育館 第三会議室

議案 （審議事項）

第1号議案 東京2025 デフリンピックにおける収入に関する合意について

第2号議案 第25回夏季デフリンピック競技大会 東京2025 寄附金募集要綱について

第3号議案 第25回夏季デフリンピック競技大会 東京2025 協賛要綱について

第4号議案 評議員会の開催及び議事に付すべき事項について

第2回定時理事会

日時 令和6年3月27日（水）午後3時15分

会場 新宿NSビル 30階スカイカンファレンス ルーム3・4

議案 （審議事項）

第1号議案 令和6年度事業計画及び予算について

第2号議案 常勤嘱託員設置要綱第5条第1項第5号に基づく承認について

第3号議案 常勤嘱託員設置要綱第6条第4項に基づく承認について

第4号議案 常勤役員の報酬年額について

第5号議案 一般法人法第84条第1項に基づく承認について

(2) 評議員会

第1回定時評議員会

日 時 令和5年6月27日（火）午後3時00分
会 場 新宿NSビル 30階スカイカンファレンス ルーム5・6
議 案 （審議事項）
第1号議案 令和4年度事業報告及び決算について
第2号議案 理事の退任に伴う次期理事の選任について

第1回臨時評議員会

日 時 令和5年7月28日（金）午後3時15分
会 場 新宿NSビル 30階スカイカンファレンス ルーム5・6
議 案 （審議事項）
第1号議案 従たる事務所の設置に伴う定款変更について

第2回臨時評議員会

日 時 令和6年3月27日（木）午後2時00分
会 場 新宿NSビル 30階スカイカンファレンス ルーム3・4
議 案 （意見聴取）
第1号議案 令和6年度事業計画及び予算について
（審議事項）
第2号議案 役員等の報酬等に関する規程の一部改正について

（3）監事監査

令和4年度決算事項にかかる合同監事監査

日 時 令和5年6月5日（月）午前10時00分
会 場 事務局 共用会議室
議事概要 令和4年度 事業概要及び決算概要報告
会計関係書面等実査

（4）評議員選定委員会

第1回評議員選定委員会

日 時 令和5年6月12日（月）午前11時40分
会 場 事務局 共用会議室
議 案 （審議事項）
第1号議案 評議員の選任について

第2回評議員選定委員会

日 時 令和5年11月29日（水）午前11時40分
会 場 事務局 共用会議室
議 案 （審議事項）
第1号議案 評議員の選任について

令和5年度事業報告

附 属 明 細 書

I 公1事業（スポーツ活動等の振興、普及啓発に関する事業）

1 スポーツ活動等に親しむ場の提供事業

(1) 体育施設等管理運営

区分	施設名	所在地	敷地面積	構造・建物延面積	開設年月
体育施設	東京体育館	渋谷区千駄ヶ谷 1-17-1	45,800㎡	鉄骨・鉄筋 コンクリート 45,332㎡	昭和29年6月
	駒沢オリンピック公園 総合運動場	世田谷区駒沢公園 1-1	157,038㎡	各棟鉄骨・鉄筋 コンクリート 45,688㎡	昭和39年12月
	東京武道館	足立区綾瀬 3-20-1	14,824㎡ (導入路含まず。)	鉄骨・鉄筋 コンクリート 17,614㎡	平成2年2月
	東京アクア ティクスセンター	江東区辰巳 2-2-1	36,399㎡	鉄骨コンクリート 一部鉄筋・鉄骨コン クリート、鉄筋コン クリート 50,692㎡	令和2年3月

主要施設（収容能力・定員等）
メインアリーナ(82m×51m)《固定席5,178席、車椅子スペース130席、最大9,308席》、サブアリーナ(34.5m×38m)《観客席なし》 陸上競技場 200mトラック5レーン(100m直線レーン)、人工芝多目的コート2面 ナイター設備 屋内プール(50m×20m) 8レーン(うち2レーンにプールフロア設置)・水深1.2m～2.2m《観客席789席》 屋内プール(25m×13m) 6レーン・水深1.2m～1.4m《観客席なし》、トレーニングルーム A(412㎡)・B(191㎡) 健康体力相談室 130㎡、スタジオ 340㎡、更衣室(プール・トレーニングルーム・スタジオ共用) 1,080㎡ 第一会議室(120人)、第二会議室(60人)、第三・四会議室(各30人)、スポーツ情報コーナー
陸上競技場(天然芝106m×73m)400m8レーン《20,010席》、体育館(38.86m×47.4m)《固定席2,354席、最大3,478席》 (令和5年度から改修工事中) 屋内球技場(39m×47m)《固定席1,532席、最大2,358席》、第一球技場(砂入り人工芝109.53m×73.51m)《1,038席》 第二球技場(人工芝110.8m×75.9m)《1,618席》、補助競技場(人工芝135m×78m)《観客席なし》、硬式野球場(人工芝 両翼91m、センター120m)《3,040席》 軟式野球場(188m×66.8m)2面《観客席なし》、テニスコート(砂入り人工芝コート8面) 弓道場(近的射場:和弓9人立28m、洋弓18m、遠的射場:和弓2人立60m、洋弓30・50m)、トレーニングルーム(1,996㎡)、東京オリンピックメモリアルギャラリー(345㎡) (令和5年度から改修工事中)
大武道場(35m×59m)《固定席1,728席、最大3,728席》、第一武道場(柔道・空手等:畳敷240畳 18m×32.5m)《観客席30席》 第二武道場(剣道・なぎなた等:板敷 18m×32.5m)《観客席30席》、弓道場 近的場28m(和弓12人立) 遠的場60m(和弓10人立) トレーニングルーム(449.7㎡)、大研修室(150人 3分割使用可 スタジオ仕様)、和研修室(7室 各室8畳)、茶室、情報資料コーナー
メインプール(50m×25m) 水深0～3.0m、可動壁、長水路(50m)全10レーン、短水路(25m)全20レーン《観客席約5,000席》 ダイビングプール(25m×25m) 水深5m、飛込台:1m・3m・5m・7.5m・10m各1基、飛板:1m2基・3m3基 サブプール(50m×25m) 水深0～3.0m、可動壁、長水路(50m)全10レーン、短水路(25m)全20レーン《観客席なし》 飛込用トレーニングルーム(395㎡)、トレーニングルーム(237㎡)、スタジオ(344㎡)、会議室(2室 計615㎡)、大会関係室(3室 計753㎡)

(2) 利用貸出事業

① 団体利用

ア 各体育施設における大規模・国際大会等の実績

施設名	大会名等	主催者	大会日程
東京体育館	ISU世界フィギュアスケート国別対抗戦2023	(公財) 日本スケート連盟	4/13～16
	第62回NHK杯体操	(公財) 日本体操協会	5/20～21
	2023 ワールド車いすラグビー アジア・オセアニアチャンピオンシップ	(一社) 日本車いすラグビー連盟	6/29～7/2
	第40回全日本武術太極拳選手権大会	(公社) 日本武術太極拳連盟	7/14～16
	ITTF PIT ジャパンオープン2023	(一社) 日本肢体不自由者卓球協会	8/30～9/2
	イオンカップ2023世界新体操クラブ選手権	(公社) 日本新体操連盟	9/28～10/1
	第23回全日本チアダンス選手権大会決勝大会	(一社) 日本チアダンス協会	11/25～26
	グランドスラム東京2023国際柔道大会	(公財) 全日本柔道連盟	12/2～3
	IBSA柔道グランプリ東京大会	NPO法人日本視覚障害者柔道連盟	12/4～5
	令和5年度天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会	(公財) 日本バレーボール協会	12/16～17
	第76回全国高等学校バスケットボール選手権大会（ウインターカップ）	(公財) 日本バスケットボール協会	12/23～29
	第76回全日本バレーボール高等学校選手権大会（春高バレー）	(公財) 日本バレーボール協会	1/4～8
	天皇杯・皇后杯全日本卓球選手権大会	(公財) 日本卓球協会	1/22～28
	天皇杯第49回日本車いすバスケットボール選手権大会	(一社) 日本車いすバスケットボール連盟	2/3～4
	第38回テニス日本リーグ	(公財) 日本テニス協会	2/16～18
	TOKYO OPEN 2024第76回東京卓球選手権大会	(一社) 東京都卓球連盟	3/5～10
	B. LEAGUE U15 CHAMPIONSHIP 2024	(公財) 日本バスケットボール協会	3/27～31
駒沢オリンピック公園総合運動場	ジャパンラグビーリーグワン2023	(一社) ジャパンラグビーリーグワン	4/22
	ジャパンラグビーリーグワン2024	(一社) ジャパンラグビーリーグワン	12/16, 1/27, 2/3, 24, 25
	2023ジャパンパラボッチャ競技大会	(公財) 日本パラスポーツ協会	8/19～20
	第23回全日本障害者・高齢者フライングディスク競技大会	(一社) 東京都障害者フライングディスク協会	8/20
	2023ジュニアスポーツアジア交流大会（バドミントン）	東京都、東京都バドミントン協会 (公財) 東京都スポーツ文化事業団	8/26～29
	WBSC 2023 U-15 Women's Softball World Cup	(公社) 日本ソフトボール協会	10/21～24, 10/26～28
	第7回東アジアシニアサッカー大会	(公財) 東京都サッカー協会	10/29～30
	2023-24 V. LEAGUE駒沢大会	(公財) 東京都バレーボール協会	12/2～3
	B. LEAGUE U18 ELITE6 LEAGUE 2023	(公財) 日本バスケットボール協会	12/15～17
	令和5年度第102回全国高校サッカー選手権大会	(公財) 日本サッカー協会	12/29, 31, 1/2
	第30回JOCジュニアオリンピックカップフェンシング大会	(公財) 日本フェンシング協会	1/4～7
	第16回全日本オリエンテーリング選手権大会（スプリント競技部門）	(公社) 日本オリエンテーリング協会	1/7
	JFA第29回全日本フットサル選手権大会	(公財) 日本サッカー協会	3/1～3/3

施設名	大会名等	主催者	大会日程
東京武道館	J O C ジュニアオリンピックカップ令和5年度ジュニアクイーンズカップ	公益財団法人日本レスリング協会	4/8～9
	第20回全国高等学校合気道演武大会	全国高等学校合気道連盟	8/2
	空手WE E K 2023	公益財団法人全日本空手道連盟	8/3～9
	第37回日本体育大学剣友会全国高校剣道大会	日本体育大学剣友会	8/16～17
	第59回和道流空手道連盟全国大会	和道流空手道連盟	8/19～20
	寛仁親王杯第23回剣道八段選抜大会	一般財団法人東京都剣道連盟	9/2
	2023年度マルちゃん杯全日本少年柔道大会	公益財団法人東京都柔道連盟	9/17
	空手道拳道会第26回全国ジュニア選手権大会	空手道拳道会	9/18
	第61回全国防具付空手道選手権大会	全日本空手道連盟錬武会	10/1
	第56回全国学生剣道優勝大会	N P O 法人日本剣道協会	10/7
	第17回V I V A J U D O 杯小学生柔道大会	公益財団法人東京都柔道連盟	10/15
	第58回全日本居合道大会	一般財団法人東京都剣道連盟	10/21
	2023日本空手道振興協会選手権大会	一般財団法人日本空手道振興協会	10/29
	第71回全国青年大会	一般財団法人日本青年館	11/11～12
	第16回世界大会	世界松濤館空手道連盟	11/17～18
	第2回WMKO国際（硬式、フルコン）空手道選手権大会	国際F S A 拳真館空手道連盟	12/2
	第51回全日本空手道選手権大会（都道府県対抗組手団体戦）	公益財団法人全日本空手道連盟	12/9
	第42回全国高等学校弓道選抜大会	東京都高等学校体育連盟弓道専門部	12/23～25
	第22回一般社団法人全日本空手道一友会全国大会	一般社団法人全日本空手道一友会	1/28
	第7回J D K F . 空手道競技大会	全日本ろう者空手道連盟東京都支部	2/4
	第14回全国選抜少年少女空手道交流大会	一般社団法人全日本空手道一友会	2/23
	第25回全日本実業団女子高壮年剣道大会	全日本実業団剣道連盟	3/2
	第47回全国高等学校柴田旗大野杯争奪剣道大会	東京都高等学校國士舘剣友会	3/29
東京アクアテイクセンター	第99回日本選手権水泳競技大会（競泳）	（公財）日本水泳連盟	4/4～9
	第99回日本選手権水泳競技大会（アーティスティックスイミング）	（公財）日本水泳連盟	5/1～3
	日本アーティスティックスイミングチャレンジカップ2023	（公財）日本水泳連盟	6/9～11
	第46回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会（競泳）	（公財）日本水泳連盟	8/22～26
	第99回日本学生選手権水泳競技大会（競泳）	（公財）日本水泳連盟	8/31～9/3
	第65回日本選手権水泳競技大会25m（競泳）	（公財）日本水泳連盟	10/21～22
	第99回日本選手権水泳競技大会（水球）	（公財）日本水泳連盟	10/26～28
	ジャパンオープン2023（競泳）	（公財）日本水泳連盟	11/30～12/3
	国際大会代表選手選考会	（公財）日本水泳連盟	3/17～24
	第46回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会（競泳）	（公財）日本水泳連盟	3/27～30

イ 令和5年度 各体育施設の稼働率

施設名		令和3年度実績(注)2	令和4年度実績(注)2	令和5年度	
				目標値	実績(注)2
東京体育館	メインアリーナ(注)1	86.5%	95.4%	98.0%	99.5%
	サブアリーナ(注)1	80.0%	96.7%	97.5%	99.8%
駒沢オリンピック公園総合運動場	体育館	72.5%	93.5%	—(注)3	—(注)3
	屋内球技場	62.9%	88.5%	92.0%	96.2%
	第一球技場	73.0%	85.5%	84.0%	84.1%
	第二球技場	74.1%	94.1%	98.0%	99.3%
	補助競技場	67.0%	94.7%	98.0%	98.1%
東京武道館	大武道場	67.0%	90.6%	86.0%	93.7%
稼働率平均		72.9%	92.4%	93.3%	96.6%

(注)1 令和2年2月1日から令和3年12月17日まで東京2020大会の開催等のため利用不可
(注)2 各施設の稼働率＝利用実績時間枠／利用可能時間枠。また、新型コロナウイルス感染症対策に伴う休館、利用中止、利用制限等の影響有（21ページ参照）
(注)3 改修工事による休館
※参考 東京アクアティクスセンターについては、団体利用のない場合は個人利用として貸し出しているため、除外している。

② 個人利用

ア 令和5年度 体育施設個人利用者数（有料利用者）

単位：人

施設名	陸上競技場	プール	トレーニングルーム	月額固定利用者	健康体力相談室	弓道場	第一武道場	第二武道場	合計
東京体育館	20,178	(注)1	255,699	68,657	182	—	—	—	344,716
駒沢オリンピック公園総合運動場	—	—	146,339	—	—	2,463	—	—	148,802
東京武道館	—	—	51,450	—	—	2,722	1,105	1,204	56,481
合計	20,178		453,488	68,657	182	5,185	1,105	1,204	549,999

(注)1 プール・トレーニングルームは共通で利用可
※参考 東京アクアティクスセンターの個人利用者数（メインアリーナ、サブアリーナ、トレーニングルームの有料利用者の合計）26,282人

イ 個人利用者数（有料利用者）の推移

単位：人

施設名	令和3年度実績(注)1	令和4年度実績(注)1	令和5年度実績(注)1
東京体育館	41,896	275,229	344,716
駒沢オリンピック公園総合運動場	57,511	119,561	148,802
東京武道館	39,557	55,699	56,481
合計	138,964	450,489	549,999
前年度比	119.0%(注)2	180.6%(注)2	122.1%

(注)1 新型コロナウイルス感染症対策に伴う休館、利用中止、利用制限等の影響有（21ページ参照）
(注)2 令和2年2月1日から令和3年12月17日まで東京2020大会の開催等のため利用不可であったことから、前年度比に東京体育館は含まない。

③ 利用者満足度調査

項目	説明
内容	東京体育館・駒沢オリンピック公園総合運動場・東京武道館・東京アクアティクスセンターの4施設にて実施
対象	個人利用者（1,310人） ・ 団体利用者（536団体） ・ 事業参加者（1,006人）
利用者満足度	結果は94.9% ※個人利用者及び団体利用者に対しては総合的な満足度を、事業参加者に対しては事業に参加した感想を調査し、「十分満足している」、「まあ満足している」と回答した割合

新型コロナウイルス感染症対策（概要）

○ 令和5年5月7日まで

- ・都立スポーツ施設等の再開館に向けた感染拡大防止ガイドライン等に基づき、感染症対策を継続

○ 令和5年5月8日

新型コロナウイルス感染症が、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の5類感染症に位置付けられる。

- ・政府の新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針廃止
- ・政府の新型コロナウイルス感染症対策本部廃止
- ・東京都による都民・事業者への要請・協力依頼終了
- ・東京都の新型コロナウイルス感染症対策本部廃止
- ・都立スポーツ施設等の再開館に向けた感染拡大防止ガイドライン廃止

○ 令和5年5月8日以降

- ・都立スポーツ施設の管理・運営やイベントの実施に当たり、基本的な感染防止対策を実施

2 スポーツ活動等に親しむことができる機会の提供事業

(1) スポーツ振興事業

① 東京体育館 (27 事業)

		事業名	事業規模			事業内容
			実施規模	定員	参加者数	
幼児・子供	1	ジュニアスポーツ成功体験プログラム	1 回 (1日)	80 人	49 人	ジュニア世代を対象に、著名アスリートや指導者などを講師に招き、スポーツを体験する機会を提供
	2	こどもスポーツチャレンジ	1 回 (1日)	80 人	41 人	ジュニア世代を対象に、スポーツを通した学びの環境を提供し、心身の健全な育成とスポーツ活動の継続に寄与
	3	ジュニア選手のメンタルトレーニング	1 回 (1日)	60 人	32 人	ジュニア世代のスポーツ選手を対象に、著名なメンタルトレーニング法の指導者を講師に招き、競技者に必要な「メンタルトレーニング法」を学ぶ機会を提供
	4	スポーツ学びチャレンジ	1 回 (1日)	80 人	32 人	ジュニア世代のスポーツ選手やその保護者、指導者を対象に、著名なスポーツ指導者や専門家等を講師に招き、ジュニア選手の競技力向上に寄与
	5	親子で楽しむリズムスポーツ	1 回 (1日)	80 人 (40組)	33 人	小学生と保護者を対象に、リトミックやヒップホップ、コンテンプラリー・ダンス等について基本技術を学び、音楽をとおしてスポーツの楽しさを体験
	6	親子で楽しむレクリエーションパーク	1 回 (1日)	80 人 (40組)	25 人	働き盛り・子育て世代の親子を対象に、体操、遊び、ニューススポーツなどの講習会や体験をとおして、基本的な身体の動かし方を学ぶ
働き盛り・子育て世代	7	女性のためのレクリエーションスポーツ	1 回 (1日)	60 人	6 人	働き盛り世代の女性を対象に、日常生活をとおして無理なく気軽に実践できる多様なトレーニング法やスポーツを紹介
	8	女性のためのボディメイキングセミナー	1 回 (1日)	80 人	22 人	女性を対象に健康的な美しさやアンチエイジングをテーマに日常的に取り入れられるスポーツやエクササイズを紹介
	9	女性バレーボール交流会ファイナル	1 回 (2日)	24 チーム (360人)	24 チーム (317人)	9人制女性バレーボールチームを対象に、駒沢オリンピック公園総合運動場と東京武道館で開催する各交流会の代表チームによる対抗試合を、東京体育館メインアリーナで実施
	10	今日から筋トレ	1 回 (1日)	80 人	46 人	スポーツ実施率の低い働き盛り世代を対象に、「筋力トレーニング」や「ストレッチング」など、生活習慣病や生活機能低下の予防や改善に繋がる運動法を紹介するセミナーを開催
	11	格闘技スポーツ体験教室	1 回 (1日)	100 人	72 人	都民を対象に、ボクシング、キックボクシング、総合格闘技など、観戦スポーツで人気の高い格闘技の体験プログラムを提供
	12	フィジカルトレーニングセミナー	1 回 (1日)	80 人	73 人	競技志向のスポーツ実施者を対象に、著名な指導者などを講師に招き、スポーツ競技全般におけるトレーニング法や競技者に求められるフィジカル面の強化法を指導
	13	メンタルトレーニング入門セミナー	1 回 (1日)	60 人	65 人	スポーツ実施率の低い働き盛り・子育て世代を対象に、スポーツ活動をはじめ、職場や子育てなどで幅広く活用できるメンタルトレーニングを学ぶセミナーを実施
	14	メンタルトレーニングスキルアップセミナー	1 回 (1日)	60 人	44 人	競技志向のスポーツ実践者を対象に、著名な指導者を講師に招き、スポーツ競技全般におけるメンタルトレーニング法や競技者に求められるメンタル面の強化法を指導
	15	スポーツボランティア入門講座	1 回 (1日)	80 人	68 人	都民を対象に、スポーツボランティアについて学び、各種スポーツイベントや競技大会のボランティアの養成を支援
	16	スポーツボランティアスキルアップ講座	1 回 (1日)	80 人	61 人	ボランティア経験者を対象に、スポーツボランティアに必要な知識や技能を幅広く学べる講座を開催
高齢者	17	体力向上ウォーキングセミナー	2 回 (2日)	120 人 (各60人)	90 人	都民の全世代を対象に、楽しく長く続けるための正しいウォーキング法の基礎講座を実施
	18	シニアのための毎日エクササイズ教室	2 回 (2日)	120 人 (各60人)	84 人	シニア世代を対象に、身体の柔軟性や日常生活に欠かせない筋力などの基礎体力を高めることを目的として、器具や道具をできるだけ使用しないエクササイズの講習を実施
	19	シニアのための健康体力づくり講座	2 回 (1日)	120 人 (各60人)	44 人	シニア世代を対象に、身体の柔軟性や筋力等の基礎体力を高めるための講習を実施
	20	シニアのためのスポーツクリニック	2 回 (2日)	120 人 (各60人)	117 人	競技志向のシニア世代を対象に、マスタース大会として行われている、卓球、バドミントン、バレーボールなどを種目として取り上げ、スキルアップのためのクリニックを実施

		事業名	事業規模			事業内容
			実施規模	定員	参加者数	
障害者スポーツ	21	障害者対象「バラスポーツ交流会」	1 回 (1日)	100 人	25 人	障害区分に応じて参加できる大会を実施し、参加者間及びボランティアとのスポーツを通じた交流を図る機会を提供
	22	バラスポーツ体験講座	2 回 (2日)	160 人 (各80人)	88 人	都民及びスポーツ指導者を対象に、パラリンピアンや障害者スポーツの現場で活躍する指導者を招き、障害者スポーツの体験、観戦、講習、アスリートによる講演会等を実施
その他	23	スポーツ指導者養成講習会	1 回 (1日)	60 人	14 人	指導者資格取得を目指し、専門的スキルを幅広く学ぶ講習会を実施し、「支える」人材の育成に寄与
	24	ジュニアスポーツ指導者育成セミナー	1 回 (1日)	80 人	7 人	ジュニア世代のスポーツ指導者を対象に、ジュニア期の身体的特性や発育・発達に基づいたテーマでセミナーを開催
	25	シニアスポーツ指導者講習会	1 回 (1日)	60 人	48 人	シニア世代のスポーツ指導者を目指す人を対象に、シニア世代の身体的特性を考慮したスポーツ指導法を学ぶ講習会を開催
	26	観戦を楽しむための「みるスポ」講座	2 回 (1日)	60 人	4 人	競技の歴史やルール、選手のプロフィール、観戦の見どころ、競技体験、大会運営の舞台裏など、スポーツの見方や楽しみ方について学べる講座を開催
	27	トップレベルスポーツ観戦事業	4 回 (4日)	400 人 (各100人)	417 人	競技団体やスポーツ大会主催者の協力を得て、都民に対し、トップアスリートの競技を直接「みる」機会を広く提供
合計			36 回	2,900 人 24 チーム	1,924 人 24 チーム	

② 駒沢オリンピック公園総合運動場（12 事業）

		事業名	事業規模			事業内容
			実施規模	定員	参加者数	
幼児・子供	1	親子で楽しむスポーツカーニバル	1 回 (1日)	288 人	36 人	幼児・小学生と保護者を対象に、様々な種目を体験する機会を提供
	2	ジュニアサッカースクール	34 回 (各1日)	14,220 人 (各420人)	8,072 人	幼児・子供を対象に、サッカーを通して基本技術の習得、フェアプレー精神を培う場を提供 ※悪天候のため一部中止
	3	ジュニアテニスアカデミー	3 回 (各10日)	1,320 人 (各40～60人)	575 人	幼児・子供を対象に、テニスを通して基本技術の習得、フェアプレー精神を培う場を提供 ※悪天候のため一部中止
	4	屋外スポーツ部活動合同練習会	1 回 (1日)	100 人	52 人	運動部活動生徒を対象に、運動部活動の活性化、ジュニア世代の競技力向上を図る合同練習会を実施 ※悪天候のため一部中止
	※	アスリートとのスポーツ交流体験	- 回 -	- 人	- 人	子供と保護者を対象に、継続的なスポーツ実践のきっかけとなるよう著名なアスリート等による指導を実施 ※悪天候のため中止
働き盛り世代	5	ランニングクリニック	2 回 (各1日)	80 人 (各40人)	63 人	働き盛り世代を対象に、ランニング技術の向上を図るセミナーを実施
	-	親子で楽しむスポーツカーニバル（再掲）	1 回 (1日)	288 人	36 人	幼児・小学生と保護者を対象に、様々な種目を体験する機会を提供
	※	アスリートとのスポーツ交流体験（再掲）	- 回 -	- 人	- 人	子供と保護者を対象に、継続的なスポーツ実践のきっかけとなるよう著名なアスリート等による指導を実施 ※悪天候のため中止
女性	6	1964東京オリンピック優勝記念 女性バレーボール交流会	1 回 (全5日)	60 チーム 660 人	60 チーム 692 人	女性バレーボールチームを対象に、女性スポーツの一層の充実を図るため、交流試合を開催
高齢者	7	シニアのためのスポーツクリニック	1 回 (1日)	40 人	15 人	高齢者を対象に、健康・体力の維持増進、スポーツ技能の向上を図るためのクリニックを実施
	※	障害者・高齢者スポーツ講座	- 回 -	- 人	- 人	障害者と高齢者を対象に、スポーツ活動意欲を促進するため、スポーツに親しむ場を提供 ※悪天候のため中止

		事業名	事業規模			事業内容
			実施規模	定員	参加者数	
障害者スポーツ	8	パラスポーツクリニック	1 回 (1日)	50 人	8 人	障害者を対象に、継続的なスポーツ実践のきっかけとなるよう身体能力に応じた技術を習得する機会を提供
	9	パラスポーツシンポジウム	2 回 (1日)	100 人 (各50人)	66 人	都民を対象に、パラスポーツの理解促進を図るためのシンポジウムを実施
	※	障害者・高齢者スポーツ講座 (再掲)	- 回 -	- 人	- 人	障害者と高齢者を対象に、スポーツ活動意欲を促進するため、スポーツに親しむ場を提供 ※悪天候のため中止
指導者	10	障害者・高齢者指導のための指導者講習会	2 回 (2日)	100 人	24 人	障害者・高齢者指導を行う指導者を対象に、障害者・高齢者の運動指導に必要な体力づくりやスポーツ活動の知識と指導技術を学ぶ機会を提供
	11	AED（自動体外式除細動器）普及啓発講習	1 回 (1日)	40 人	40 人	スポーツ指導者等を対象に、緊急の際に必要な知識と技能を学ぶ機会を提供
その他	12	トップスポーツ観戦事業	3 回 (3日)	150 人 (各50人)	150 人	都民を対象に、競技団体の協力を得てトップアスリートの競技をみる機会を提供
合計			52 回	17,148 人 60 チーム	9,793 人 60 チーム	

(注) 上記事業の他に、指定管理者としてコンソーシアムを組む一般社団法人東京都レクリエーション協会と連携したスポーツ振興事業を実施

③ 東京武道館（34 事業）

		事業名	事業規模			事業内容
			実施規模	定員	参加者数	
幼児・子供	1	青少年武道錬成大会（なぎなた）	1 回 (全2日)	100 人	105 人	青少年に対する正しい武道（なぎなた）の基本技術習得と親睦
	2	青少年広域武道稽古（剣道）	35 回 (各1日)	700 人 (各20人)	319 人	小・中学生の剣道初心者、初級者を対象とした、技術向上のためのレベル別指導と所作・礼節指導
	3	青少年広域武道稽古（柔道）	35 回 (各1日)	700 人 (各20人)	574 人	小・中学生の柔道初心者、初級者を対象とした、技術向上のためのレベル別指導と所作・礼節指導
	4	武道系部活動合同稽古（剣道）	4 回 (各1日)	450 人 (3回50人) (1回300人)	657 人	運動部活動（剣道）の活性化のための合同稽古 ※ 4 回中 3 回実施
	5	武道系部活動合同稽古（なぎなた）	2 回 (各1日)	200 人 (各100人)	192 人	運動部活動（なぎなた）の活性化のための合同稽古
	6	武道系部活動合同稽古（少林寺拳法）	2 回 (各1日)	160 人 (各80人)	161 人	運動部活動（少林寺拳法）の活性化のための合同稽古
	7	武道系部活動合同稽古（弓道）	1 回 (1日)	80 人	43 人	運動部活動（弓道）の活性化のための合同稽古
	8	親子武道体験	1 回 (1日)	30 人 (15組30名)	10 人	武道未経験の親子を対象に、柔道着を着て柔道の基本動作を学ぶ体験事業
	9	武道館でBUDO	1 回 (1日)	30 人	30 人	「スポーツチャンバラ」などの、障害のあるなしに関わらず楽しめる、親しみやすいレクリエーションを通じて、誰もが武道館に興味を持ち、運動をするきっかけづくり
働き盛り世代	10	柔道広域合同稽古	35 回 (各1日)	1,050 人 (各30人)	1,047 人	柔道の技術向上のためのレベル別指導
	11	弓道広域合同稽古	30 回 (各1日)	1,800 人 (各60人)	1,656 人	弓道の技術向上のためのレベル別指導
	12	なぎなた広域合同稽古	32 回 (各1日)	960 人 (各30人)	518 人	なぎなたの技術向上のためのレベル別指導
	13	居合道広域合同稽古	12 回 (各1日)	720 人 (各60人)	477 人	居合道の技術向上のためのレベル別指導
	14	杖道広域合同稽古	6 回 (各1日)	240 人 (各40人)	307 人	杖道の技術向上のためのレベル別指導
	15	合気道広域合同稽古	6 回 (各1日)	240 人 (各40人)	286 人	合気道の技術向上のためのレベル別指導

		事業名	事業規模			事業内容
			実施規模	定員	参加者数	
女性	16	女性のための武道体験	1 回 (1日)	50 人	35 人	女性を対象とした、日常生活の危険から自分自身を守るための知識と武道技術を用いた基礎的な護身術を学ぶ講習
	17	女性バレーボール交流会	1 回 (全3日)	36 チーム	35 チーム	9人制バレーボールクラブの交流試合（東京体育館、駒沢オリンピック公園総合運動場の事業と連動）
高齢者	18	シニアのための武道体験	2 回 (各1日)	60 人 (各30人)	26 人	シニア世代を対象とした、武道の素晴らしさや楽しさを紹介する体験事業
障害者スポーツ	19	障害者スポーツ理解・啓発講習	1 回 (1日)	40 人	7 人	障害者スポーツの特性や素晴らしさの理解を促す講習
	20	障害者スポーツ普及講習	1 回 (1日)	40 人	8 人	体験を通じて楽しさや奥深さを知り、障害者スポーツの普及を図る講習
	21	障害のある人のための武道体験	1 回 (全2日)	20 人 (各日10人)	13 人	障害のある人を対象とした、武道の素晴らしさや楽しさを紹介する体験事業
指導者の育成	22	地域社会武道指導者研修会	1 回 (全2日)	40 人	56 人	指導者（合気道）を対象とした、正しい武道の技術や指導方法の研修
	23	居合道錬成講習会	1 回 (1日)	40 人	39 人	居合道の指導技術向上のための理論と実技の講習
	24	なぎなた錬成講習会	1 回 (1日)	40 人	26 人	なぎなたの指導技術向上のための理論と実技の講習
	25	合気道錬成講習会	1 回 (1日)	40 人	45 人	合気道の指導技術向上のための理論と実技の講習
	26	空手道錬成講習会	1 回 (1日)	30 人	16 人	空手道の指導技術向上のための理論と実技の講習
	27	弓道錬成講習会	1 回 (全10回)	400 人 (各40人)	368 人	弓道の指導技術向上のための理論と実技の講習
	28	古流剣道形研修会	25 回 (各1日)	250 人 (各10人)	138 人	直心影流「法定の形」、五行之形の技術の研修
競技力の向上	29	柔道強化練習会	1 回 (1日)	30 人	115 人	ジュニアを対象とした、柔道の競技力向上を目的とした技術指導
	30	剣道広域合同稽古	12 回 (各1日)	1,200 人 (各100人)	1,086 人	剣道の競技力向上を目的とした技術指導
競技力の向上	31	武道稽古はじめ	1 回 (1日)	60 人	66 人	新年を祝う年はじめの武道稽古と鏡開き
	32	東京武道館杯	1 回 (1日)	600 人	531 人	小学生以上の武道愛好者が集う試合、演武の総合武道大会
	33	トップスポーツ観戦事業	3 回 (各1日)	90 人 (各30人)	57 人	一般都民を対象に、トップアスリートの競技を「観る」機会の提供（剣道、空手道、柔道）
	34	技術向上支援 (中学校武道必修化サポート)	2 回 (各1日)	40 人	26 人	教員を対象とした、指導技術等の向上のための支援 ※2回中1回実施
合計			261 回	10,530 人 36 チーム	9,040 人 35 チーム	

④ 東京アクアティクスセンター (20 事業)

		事業名	事業規模			事業内容
			実施規模	定員	参加者数	
幼児・子供	1	オリンピック・パラリンピアンによる水泳教室	2 回 (各1日)	200 人 (各100人)	88 人	小・中学生を対象に、水泳に対する意欲の高揚を図るため、オリンピック等による指導を実施
	2	アクアスイミングランキング	6 回 (各1日)	300 人 (各50人)	72 人	小学生を対象に、小学生の競技力、水泳への取組意欲の向上を図るため、競泳の学年別・泳法別の記録会を実施
	3	競泳ジュニア選手活動活性化事業	2 回 (各1日)	100 人 (各50人)	93 人	競泳のジュニア選手を対象に、技術向上や選手間の交流の機会を創出
	4	アーティスティックスイミングジュニア選手活動活性化事業	1 回 (1日)	50 人	30 人	アーティスティックスイミングのジュニア選手を対象に、技術向上や選手間の交流の機会を創出
	5	飛込ジュニア選手活動活性化事業	1 回 (1日)	30 人	10 人	飛込のジュニア選手を対象に、技術向上や選手間の交流の機会を創出
	6	親子で楽しむチャレンジスポーツ	1 回 (1日)	100 人	58 人	小学生とその保護者を対象に、親子におけるスポーツの楽しさの共有を図るため、スポーツを体験する機会を提供
働き盛り世代	7	スイマーフォームクリニック	24 回 (各1日)	240 人 (各10人)	350 人	働き盛り世代を対象に、競技力向上と生涯スポーツとしての促進を図るため、目的に合わせたクリニックを実施 ※第2回目から定員を15名に、第3回目から20名に変更
	8	東京アクアティクスセンター杯水泳大会(競泳)	1 回 (1日)	3,500 人	2,109 人	水泳愛好者を対象に、東京2020大会の開催を記念し、日頃の練習の成果を発揮する場として、競泳の競技会を開催
	9	東京アクアティクスセンター杯水泳大会(AS・飛込)	1 回 (1日)	500 人	344 人	水泳愛好者を対象に、東京2020大会の開催を記念し、日頃の練習の成果を発揮する場として、AS及び飛込の競技会を開催
	10	アーティスティックスイミング体験会	1 回 (全5日)	400 人 (各80人)	101 人	競技の普及・振興を図るため、ASの基本動作・技術等を学ぶ機会を提供
	11	飛込体験会	1 回 (全5日)	250 人 (各50人)	200 人	競技の普及・振興を図るため、飛込の基本動作・技術等を学ぶ機会を提供
	12	水球体験会・水球クラブ間交流会	1 回 (全5日)	250 人 (各50人)	167 人	競技の普及・振興を図るため、水球の基本動作等を学ぶ機会とクラブ間交流を深める機会を提供 ※第4回目から定員を80名に変更
	13	オープンウォータースイミング体験会	1 回 (1日)	50 人	8 人	競技の普及・振興を図るため、オープンウォータースイミングの基本動作・技術等を学ぶ機会を提供
高齢者	14	運動不足解消のための水中運動講座	6 回 (各1日)	240 人 (各40人)	110 人	スポーツ活動への意欲を高めるため、健康増進やアンチエイジングを目的とした講座を実施
	15	愛好者のためのトップスイマークリニック	1 回 (全4日)	160 人 (各40人)	128 人	競技志向者を対象に、水泳競技の継続意欲をより一層促進するため、トップアスリートによる水泳指導を実施
障害者スポーツ	16	はじめての障害者スイミング・水泳ボランティアセミナー	2 回 (各2日)	160 人 (各40人)	115 人	障害者の水泳初心者・初級者を対象に、水慣れ、泳法の基本指導を行う教室と、障害者支援に興味のある方を対象に、ボランティアセミナーを実施
	17	障害者水泳交流大会(ゆめけんカップ)	1 回 (全1日)	60 人	64 人	障害者を対象に、水泳の裾野拡大を図るため、スポーツをする楽しみや達成感を味わえる交流大会を開催

		事業名	事業規模			事業内容
			実施規模	定員	参加者数	
指導者の育成	※	水泳コンベンションinアクア	- 回 -	- 人	- 人	水泳指導者を対象に、指導者の資質の向上と交流を図るため、指導者が一堂に会する機会を提供 ※令和5年度は関係団体と内容等を検討したが日程が合わず未実施
	18	障害者水泳指導セミナー	1 回 (全1日)	50 人	18 人	障害者水泳の指導者やパラアスリートの保護者等を対象に、障害の程度に応じた水泳指導のスキルを学ぶ講習会を実施
	19	マスターズ水泳指導セミナー	1 回 (全1日)	80 人	12 人	スポーツ指導者、指導者を目指す人を対象に、シニア世代の身体的特性に考慮した水泳指導のスキルを学ぶ講習会を実施
その他	20	観戦招待事業	3 回 (各1日)	200 人	387 人	一般都民を対象に、スポーツへの興味・関心と実践意欲を高めるため、大規模水泳大会の観戦招待を実施 ※第3回目の定員を200名に変更
合計			58 回	6,920 人	4,464 人	

(2) 自主事業

① 東京体育館 (10 事業)

	事業名	事業規模			事業内容
		実施規模	定員	参加者数	
1	アスリートによる部活動等クリニック	2 回 (1日)	120 人 (各60人)	76 人	高校生世代の競技者や指導者を対象に、トップアスリートや著名指導者等による技術指導を実施 また、指導の様子を撮影したアーカイブ映像を後日参加者へ配信し、学んだことの振り返りを行えるサービスを提供
2	アスリートによるジュニアスポーツ未来塾	1 回 (1日)	60 人	28 人	ジュニア世代を対象に、著名アスリート等を講師に招き、実技指導や講話などを通して子供たちがスポーツに親しむ機会を提供
3	東京体育館卓球大会「東京体育館杯」	1 回 (1日)	144 人	136 人	都民を対象として、東京2020オリンピック・パラリンピックで卓球競技会場となった東京体育館で、幅広い年齢層が参加できる卓球大会を実施
4	シニアのための健康体力測定	1 回 (1日)	50 人	35 人	健康体力相談事業と連携し、シニア世代を対象に、個々の体力測定の結果に応じた正しい運動の実施方法などを専門家に相談する機会を提供
5	トップアスリートスポーツフォーラム	1 回 (1日)	120 人	37 人	都民を対象に、元又は現役トップアスリートを講師に招き、スポーツ界のタイムリーなテーマによる講演やシンポジウムなどを実施し、スポーツへの理解を深める機会を提供
6	スポーツビジネスセミナー	1 回 (1日)	50 人	36 人	学生、社会人等を対象に、著名なスポーツビジネスの研究者等を講師に招き、スポーツビジネスへの理解を深めるセミナーを開催
7	多目的コートの保育園園庭利用	通年	—	54 人	多目的コートの空き時間に、園庭が無い近隣保育園・幼稚園の園庭として活用できるよう施設を提供
8	フットサルTOTALI倶楽部	通年	—	667 チーム	フットサル愛好者を対象に、陸上競技場の多目的コートを活用し、フットサルスクールや交流会を実施
9	東京体育館ランニングクリニック	年12回	—	延べ 317 人	都民及びジュニアのランニング愛好者を対象に、著名な指導者等によるランニングの基礎理論と技術習得のためのプログラムを提供
10	スポーツ人材マッチングコーナー	年1回 以上	—	422 人	スポーツイベントの際にボランティアやスポーツ指導者などスポーツを支える人材をマッチングするコーナーを設け、スポーツを「支える」人材の積極的な活用を支援
合計		20 回	544 人	1,141 人 667 チーム	

(注) 上記事業の他に、指定管理者としてコンソーシアムを組む株式会社ティップネスにより、自主事業を実施

② 駒沢オリンピック公園総合運動場 (6 事業)

	事業名	事業規模			事業内容
		実施規模	定員	参加者数	
1	ジュニアベースボール大会	2 回 (2日)	16 チーム	16 チーム	小・中学生を対象に、軟式野球チームの東京都代表を決定する軟式野球大会を実施
2	ジュニアラグビースクール	1 回 (全10日)	600 人 (各日60人)	113 人	小学生を対象に、基礎的な技術習得と体力向上を図るため、ラグビーの指導を受ける機会を提供
3	ソサイチリーグ	20 回 (各1日)	320 チーム (各16チーム)	257 チーム	学生と社会人を対象に、継続的なスポーツの実施を促進するため、8人制サッカー（ソサイチ）の試合を行う機会を提供 ※悪天候のため一部中止
4	陸上記録会	2 回 (各1日)	80 人 (各40人)	57 人	ランニング愛好者を対象に、陸上競技長距離の記録を計る機会を提供
5	ジュニアフットボールパーク	2 回 (1日)	96 チーム (640人)	67 チーム (710人)	幼児・小学生を対象に、サッカーやフットサルの交流試合を実施
6	3x3（バスケットボール）カップ	1 回 (1日)	48 チーム (192人)	40 チーム (187人)	バスケットボールや3×3の競技者及び愛好者を対象に、3×3の大会を実施
合計		28 回	1,512 人 480 チーム	1,067 人 380 チーム	

(注) 上記事業の他に、指定管理者としてコンソーシアムを組む株式会社オーエンスにより、自主事業を実施

③ 東京武道館（4 事業）

	事業名	事業規模			事業内容
		実施規模	定員	参加者数	
1	U-18将棋スタジアム	1 回 (1日)	700 人	602 人	青少年を対象とした将棋大会、プロ棋士による指導対局及び入門教室等の総合的な将棋イベント
2	ジュニア囲碁パーク	1 回 (1日)	400 人	301 人	青少年を対象とした囲碁大会、プロ棋士による指導対局及び入門教室等の総合的な囲碁イベント
3	武道ツーリズム事業 「武道&茶道体験事業」	1 回 (1日)	40 人	— 人	令和6年度実施に向け、スポーツ庁の取組事例集を基に、当館における体験事業への企画するための意見交換を行うとともに、自治体主体（宮崎県）の取組調査を実施
4	有名選手・指導者ふれあい事業	1 回 (1日)	600 人	49 人	トップ選手や有名指導者とふれあう機会を提供 ※スポーツの日記念イベントに含めて実施
合計		4 回	1,740 人	952 人	

（注） 上記事業の他に、指定管理者としてコンソーシアムを組む株式会社ティップネスにより、自主事業を実施

④ 東京アクアティクスセンター（1 事業）

	事業名	事業規模			事業内容
		実施規模	定員	参加者数	
1	再開業イベント	1 回 (7日)	1,000 人	8,464 人	本施設の再開業を記念したイベントを実施し、無料での一般公開や水泳プログラムの体験、施設見学会などを行い、当施設の再開業を広く周知・アピール

(3) 周辺連携事業

① 東京体育館（14 事業）

	事業名	事業規模		事業内容
		実施時期	参加者数	
1	国立競技場大規模イベントとの連携	適宜	—	国立競技場で行われる陸上大会時等に東京体育館の陸上競技場を貸し出したほか、東京2025世界陸上競技選手権大会の練習会場等として陸上競技場を提供することについて東京都と協議。また、国立競技場での大規模イベント時に東京体育館の広場を物販エリア等として主催者に貸出を実施
2	国立競技場連携スタジアムツアー	6/28	—	海外のスポーツ施設関連団体の視察対応として、東京体育館と国立競技場が連携して実施
3	国立競技場との一体的なイベントの開催	通年 11回	—	国立競技場と連携し、両施設での一体的な賑わいを創出するため、国立競技場での大規模イベント時に東京体育館の広場を物販エリア等として主催者に貸出を実施
4	大規模災害など有事の際の連携	適宜	—	両施設の担当者間の連絡体制を整理。また、都による明治公園震災時利用計画策定に係る協議に向けて、同圏域内の国立競技場と情報交換
5	神宮外苑スポーツ施設スポーツツーリズム	11/15	—	スポーツと観光・ビジネスを学習する修学旅行生への東京体育館の紹介・説明と意見交換を実施
6	神宮外苑地区連絡協議会参加施設との広報協力	適宜	—	神宮外苑地区近隣施設情報交換会に参加。また、参加施設に東京体育館のチラシ設置の協力を依頼
7	神宮外苑地区ランニングステーション活用	通年	—	更衣ロッカーやシャワー等を通常の個人利用料金でランニングステーションとして提供し、ホームページでもPR
8	千駄ヶ谷大通り商店街との地域魅力向上のための包括協定	適宜	—	千駄ヶ谷大通り商店街振興組合との包括連携に関する協定を更新。また、町内会も参加し、原宿警察署と合同の総合対処合同訓練を実施
9	スポーツの日記念事業における近隣地区との連携	10/9	—	10月のスポーツの日記念事業の際、近隣地区と連携し、商店街のキッチンカー、近隣のアパレルショップ等による出店などを実施 ※参加者数は「スポーツフェスタ2023in 東京体育館（後掲）」に含む
10	（公社）日本将棋連盟との連携	スポーツの日 記念事業 10/9 島しょ地区 将棋教室 11/11	272 人 47 人	（公社）日本将棋連盟の協力を得て、島しょ地区での将棋教室やスポーツの日記念事業の際の将棋指導を実施（後掲）
※	地域交流イベントへの参加	—	—	商店街からの要請に基づき、「渋谷おとなりサンデー」などの地域交流イベントへの参加・協力 ※令和5年度は商店街からの要請がなかったため未実施
11	近隣施設との広報協力	適宜	—	近隣各施設における東京体育館のチラシや事業団広報誌の設置、国立能楽堂主催イベントでの連携に向けた協議、津田塾大学の文化祭における事業団マスコットキャラクターの出演協力、事業団広報誌による同大学の紹介等を実施
12	利用者に対する近隣施設紹介	適宜	—	デジタルサイネージによる近隣の商店街マップの掲載は、商店街振興組合の作成日程が合わず未実施となったが、津田塾大学のコンテンツを掲載するとともに東京体育館で展示・紹介
※	神宮外苑地区ウォーキングイベントへの協力	—	—	JRが実施するウォーキングイベントに対し、必要に応じてグッズや休憩場所の提供を行い、本施設のPRを実施 ※令和5年度はJRにおいてイベントが実施されなかったため未実施
13	陸上競技場多目的コートの有効活用	適宜	54 人	陸上競技場の多目的コートを近隣の幼稚園の園庭として貸出（再掲）
14	その他関係団体との連携	通年	397 人	（一社）渋谷区医師会と連携し、健康体力相談事業を実施（後掲）

② 駒沢オリンピック公園総合運動場（6事業）

	事業名	事業規模		事業内容
		実施時期	参加者数	
※	アーバンスポーツ初心者講習会	—	—	小・中学生を対象に、アーバンスポーツ（スケートボード・BMX・インラインスケート等）の初心者講習を実施 ※悪天候のため中止
1	ハーフマラソン	10/9	131 人	公園とスポーツ施設を一体利用したランニングイベントを実施し、日頃のランニングの成果の発揮やスポーツに親しむ機会を提供
2	防災フェスタ	12/9	2,816 人	公園、地元消防・警察等と連携し、防災公園内に設置された体育施設として、近隣住民等を対象に、防災・減災に役立つイベントを実施
3	ランニングステーション	通年	1,531 人	ランナーやサイクリストなどの公園利用者向けのランニングステーションとして、トレニングルームのシャワーや更衣室を提供 ※2月、3月実績（2月より統計を開始）
4	近隣警察・消防への訓練場所提供	通年 14回	—	警察署・消防署の訓練（制圧逮捕訓練や大型車訓練等）に対し、訓練場所として駐車場を提供
5	玉川地域官公署等連絡協議会	2カ月1回 6回	—	世田谷区をはじめ地域の行政機関等で定期的に開催される玉川地域官公署等連絡協議会に参加、情報交換等を行うとともに、各種事業等の広報協力を依頼
6	大規模イベントにおける近隣大学・地元商店街等の協力	10/9 12/9	—	「スポーツの日記念事業」等の大規模イベントに、近隣大学のサークルのステージ出演やボランティア参加、地元商店街出店等の機会を設定し、地域の賑わいを創出

（注） 上記事業の他に、指定管理者としてコンソーシアムを組む一般社団法人東京都レクリエーション協会と連携した周辺連携事業を実施

③ 東京武道館（9事業）

	事業名	事業規模		事業内容
		実施時期	参加者数	
1	東綾瀬公園との広報連携	通年	—	公園内インフォメーションに当館イベント等のポスター掲示やチラシを設置し、当館ではデジタルサイネージに園内マップなどを掲載して相互連携 スポーツの日記念事業では東綾瀬公園が提供した植木を飾るブースを設置
2	綾瀬商店街振興組合ほかとの広報協力	通年	—	周辺店舗に東京武道館杯に係る広報を協力いただき、当館では当該事業のプログラムに協力店舗名を掲載
3	スポーツの日における近隣地区との連携	10/9	4,403 人	スポーツの日記念事業「武道・スポーツフェスティバル」において、近隣公園等の協力によるコミュニティブースの展開のほか、飲食店等と連携した割引サービスやスタンプラリーを実施
4	綾瀬警察署による講習会への協力	通年	—	講習会の開催予定が無かったため、綾瀬警察署から依頼された防犯等に係る注意喚起動画等を定期的にサイネージに掲載
5	足立区との防災・環境に対する連携	10/31	294 人	地域の美化活動として、綾瀬駅周辺の清掃イベントに参加 ※イベント主催は足立区地域調整課
6	近隣学校への施設提供	適宜	—	改築工事中の東綾瀬中学校に対して施設を提供し、運動部活動やイベント等の開催に協力 近隣学校の申し出により、当館の沿革や武道における教育活動を知る生活科授業の一環として受け入れ
7	地域サークルとの協力	2/11	—	東京武道館杯の開会式に地域サークルである「綾瀬太鼓会」を招待し、演目の披露の場を提供
8	足立区スポーツ推進委員との共同事業	10/9	1,665 人	スポーツの日記念事業において足立区スポーツ推進委員と連携を図ったが、同日は区のスポーツイベントが各所で行われており、共同で事業を実施するに至らなかったが、計画していた小中学生対象のニュースポーツ及び武道の体験事業は当該イベントで実施
9	東京武道館写真コンテンツ	—	—	令和6年度実施に向け、撮影範囲や賞品等の検討会を開催し、実施要綱を制定

（注） 上記事業の他に、指定管理者としてコンソーシアムを組む株式会社ティップネスにより、周辺連携事業を実施

④ 東京アクアティクスセンター（10事業）

	事業名	事業規模		事業内容
		実施時期	参加者数	
1	ニューススポーツイベント	10/9	307 人	辰巳の森海浜公園と連携し、にぎわい創出と地域からのスポーツ振興を図るため、気軽に楽しめるニューススポーツの体験イベントを実施
※	フォトラリー	—	—	運動機会の創出や当エリアの社会的認知の拡大を図るため、当施設を含めた東京2020大会会場等を巡り、撮影しながら点数を競うラリーを実施 ※事業内容を検討したが実施時期等の調整が整わず未実施
2	ガイドツアー（東京2020大会施設等見学）	3/9	18 人	海の森海浜公園等と連携し、大会レガシーの継承を図るため、「臨海スポーツゾーン」の東京2020大会会場を巡るツアーを実施
3	子供ヨット体験	8/12	27 人	若洲海浜公園ヨット訓練所と連携し、ジュニア世代を対象に、スポーツ振興を図るため、ヨット体験を実施
4	ランニングステーション	通年	—	地域のスポーツ拠点としての定着を図るため、公園利用者や地域のランナー・ウォーカーに対して、個人利用施設開放時に更衣室を提供
5	周辺施設との相互情報発信	通年	—	辰巳の森海浜公園や都立施設と連携し、デジタルサイネージでの放映、パンフレット設置やパネル展示等により、各施設の魅力や催物情報等を相互で発信
6	ヨガイベント	9/12	84 人	辰巳の森海浜公園と連携し、スポーツ実施率の低い層への訴求、スポーツ実践のきっかけづくりを図るため、ヨガイベントを実施
7	シェアサイクルの運用	通年	—	本施設及び周辺施設へのアクセス向上、周辺地域一帯の回遊性を高め、地域の活性化に寄与するため、シェアサイクルのポートを新たに設置
8	定期的な連絡会（連絡会を通じた周辺施設との連携）	通年	—	辰巳の森海浜公園と連携し、利用者に必要な情報を提供するなどの効果的な施設運営を図るため、今後の行事や管理運営等を確認する連絡会を実施
9	合同防災訓練等による安全性の向上	2/22	—	辰巳の森海浜公園と連携し、災害時における防災、減災への備えとして防災機能高め、安全性の向上を図るため、合同で防災訓練等を実施
※	地元団体・教育機関等(小学校・特別支援学校等)の作品展	—	—	地元の団体や教育機関等と連携し、文化振興への寄与及び地域に根ざした施設となるため、絵画や書道などの作品展示を実施 ※展示内容を検討したが団体と調整が整わず未実施
※	職場体験・インターンの受入	—	—	地元の教育機関等の職場体験・インターンシップなどを受け入れ、教育活動への積極的な協力を実施 ※教育機関と連携等について確認したが調整が整わず未実施
10	地域クリーンウォーキング	1/28 3/24	47 人 24 人	地域の魅力向上・活性化を促進するため、近隣公園を含めた周辺地域において、ウォーキングを兼ねた清掃活動を実施

(4) スマイル自主事業

		事業名	事業規模			事業内容
			実施規模	定員	参加者数	
スポーツ等普及事業	※	ジュニアサッカーフェスティバル	—	—	—	次代を担う都内の幼児及び小学生とその保護者を対象に（公財）東京都サッカー協会等の団体の協力を得て、サッカーイベントを実施 ※事業予算見直しにより中止
	1	島しょ地区スポーツ・文化普及事業	1日	50人	47人	伊豆諸島・小笠原諸島における子供から大人までを対象に、スポーツや将棋の指導を受ける機会を提供
	2	東京都少年少女サッカーフェスティバル	1日	2,800人	1,692人	都民の心身の健全な発達を図るため、（公財）東京都サッカー協会との共催により、小学校低学年児童及び保護者等のサッカーチームによるミニサッカー交流大会を開催
	3	水泳の日	1日	1,000人	647人	（公財）東京都水泳協会と共催し、各種参加型・観覧型コンテンツにより、1日をとおして水泳に親しむ機会と場所を提供し、水泳競技の更なる発展に寄与
	4	ランニングフェスティバル	1日	3,000人	1,934人	移植医療を受けた方、障害者及び一般ランナーを対象にランニングイベントを実施し、皆で共に走る喜びを分かち合える機会と場所を提供
	5	サイクルフェスティバル	1日	200人	73人	都民を対象に、自転車競技への関心を深めるとともに、障害者スポーツの魅力を発信するため、各種体験やデモンストレーションを披露する大会を開催し、自転車競技の更なる普及・発展と、障害者スポーツへの理解を促進する機会を提供
普及PR事業	6	事業団広報誌の発行	4回	—	—	事業団が行うスポーツ振興事業、自主事業等の実施概要や参加者募集、東京都が行うスポーツ事業の紹介等を扱う事業団広報誌を年4回（6・9・12・3月）発行
	7	スマイルスポーツメルマガジンの配信	通年	—	—	随時配信するメルマガジンにより事業団のスポーツ事業等の情報を提供 令和6年3月末登録者数：6,524人
	8	マスコットキャラクターを活用した広報活動	通年	—	—	マスコットキャラクター「SUSIE（スージー）」のデザインや着ぐるみを活用し、各イベントの盛り上げなどを実施

(5) スポーツムーブメント醸成事業

		事業名	事業規模		事業内容
			実施時期	参加者数	
1		スポーツフェスタ2023 in 東京体育館 スポーツフェスタ2023 in 国営昭和記念公園 スポーツフェスタwinter2024 in KOMAZAWA	10/9 10/21 3/9	11,649人 53,322人 11,038人	都民のスポーツへの理解と関心を深め、スポーツ活動への意欲を高めることを目的として、気軽に参加できるプログラムを主体としたイベントを東京体育館及び多摩エリアで実施 また、産業の視点を加えた、スポーツの様々な魅力を発信するイベントを駒沢オリンピック公園中央広場で開催
2		TOKYOウォーク2023	参集型 9/16・12/2 アプリウォーク 11/1～12/26 (全56日間)	参集型 2,998人 アプリウォーク 521人	区部及び多摩地域で、都内の魅力あるエリアにウォーキングコースを設け、都民の健康づくりとスポーツへの興味、関心を喚起するウォーキング大会を実施 ※参集型及びスマートフォンアプリを使用したアプリウォークを実施
3		都立特別支援学校活用促進事業	通年	体育施設貸出 102,194人 スポーツ体験教室 2,126人	障害のある方や障害者スポーツ競技団体等が、身近な地域でスポーツ活動ができるよう、都内にある特別支援学校の体育施設を学校教育活動に支障のない時間帯について貸出しを実施。また、児童・生徒・地域住民等が参加した体験教室を開催し、パラスポーツ等の体験や参加者同士の交流を促進
4		スポーツ東京案内事業	通年 (指導者派遣)	97回	WEBサイト「SPOPITA」において、スポーツ施設やイベント情報の情報量拡充、新規コンテンツの制作、SNSによる発信力の強化を実施 また、東京都体育協会、東京都レクリエーション協会及び国際大会に出場経験を持つアスリートと連携し、区市町村等が主催するスポーツイベント等に対して、指導者を派遣
5		スポーツ気運継承事業	9/15～12/17	1,446人	都、区市町村、スポーツ推進企業等が実施する複数のイベントへの参加を促進するための回遊施策やキャンペーンを実施。また、イベントの広報を一体的に行うに当たり、WEBサイト「SPOPITA」を活用
6		スポーツ推進企業 Enjoy Sports 促進事業 (スポーツインストラクター等派遣)	通年 46回	2,929人	企業におけるスポーツの取組に対する意欲やスポーツ実施率の向上に寄与することを目的に、東京都スポーツ推進企業にスポーツインストラクター等を派遣
7		東京都スポーツ施設予約システム	通年	—	当事業団の指定管理施設を含む都立スポーツ施設の予約等が一体的に行える「東京都スポーツ施設予約システム」の管理・運用を実施
8		都立スポーツ施設映像配信システムの構築・運営	通年	撮影件数 45件	だれもがいつでもどこでもスポーツを「みる」「支える」ことができるよう、都立スポーツ施設において撮影した大会等の映像を配信する「都立スポーツ施設映像配信システム」を都と共同で実施
9		東京都シニア・コミュニティ交流大会	2/3 2/4 2/12 2/17	273人 176人 650人 96人	シニア世代の生きがいを創出し、いきいきとした生活の実現に向けて、趣味活動等を通じ、地域コミュニティ等とつながりが持てるよう交流大会を開催

(6) 都立スポーツ施設連携促進事業

	事業名	事業規模		事業内容
		実施時期	参加者数	
1	SPOPITAを活用した都立スポーツ18施設の発信力強化	通年	—	都立スポーツ施設を一体的に広報・PRし、施設の認知度を向上させ、施設の更なる利用促進につなげることを目的に、SPOPITAを活用し、施設情報の拡充、施設のVRツアーの追加、スポーツの疑似体験映像の制作・掲載等を図り、各施設の情報を発信
2	SPOPITAのTwitter・LINE等SNSを活用した各施設の情報発信	通年	—	都立スポーツ施設のイベント等の情報をX（旧Twitter）、Instagramで発信するとともに、スポーツに関心の低い層へも広く届けていくため、新たに開設したLINEのプッシュ機能を活用し、各施設の魅力的な情報を発信
3	都立スポーツ18施設のガイドブック（デジタルブック）作成・拡充	11/15～	—	都立スポーツ施設の魅力等を発信し、認知度の向上や国際大会の誘致など、多様な利用促進に繋げるため、都立スポーツ施設の一体的な広報として「東京都立スポーツ施設デジタルガイドブック "18FACILITIES"」を制作・公開
4	デジタルアンケートの作成・展開	通年	—	都立スポーツ施設で行っている団体及び個人利用者への利用者満足度調査に係る設問の共通化とデジタル化を目的としたデジタルアンケートの作成及び集計を実施
5	スポーツ用具やアーカイブ資産等の施設間共有	11/1～	申請件数 1 件	施設の更なる利用ニーズへの対応や利便性の向上を図るため、都立スポーツ施設で所有・整備している競技用備品の情報をリスト化・共有し、施設間貸借の調整を実施
6	都立スポーツ施設周遊バスツアー	7月～2月	142 人	都民等に都立スポーツ施設での競技観戦・スポーツ体験会の機会等を提供し、広く施設に親しんでいただくため「都立スポーツ施設周遊バスツアー」を企画・実施（全7回）
7	コンシェルジュ窓口機能の拡充	5/1～	受付件数 89 件	スポーツ利用やイベント等、様々な用途での都立スポーツ施設の利用をサポートする相談窓口として、「TOKYOスポーツ施設コンシェルジュ」を開設
8	共通ロゴ・キャラクター等の作成	通年	—	都立スポーツ施設への愛着や認知度の向上、一層の利用促進に繋げるため、共通ロゴ・キャラクター等を作成
9	パートナーシップ会議の事務局	通年	—	施設間の連携強化、施設運営のレベルアップを図るため、都立スポーツ施設の管理者等を集めた情報交換会を実施

(7) その他

	事業名	施設名	事業規模			内容・対象者
			計画規模 (日)	実施規模 (日)	参加者数 (人)	
1	スポーツの日 記念事業	東京体育館 駒沢オリンピック公園総合運動場 東京武道館 東京アクアティクスセンター	各1	各1	東体 11,649 駒沢 10,373 武道館 4,403 アクア 3,718	10/9に個人利用施設の無料開放や各種プログラムを実施 ・卓球プログラム、バラスポーツ等各種スポーツ体験等（東体） ・スポーツ体験、アスリートによるトークショーや講習会等（駒沢） ・未経験者対象の武道体験教室、オリンピックによる特別稽古等（武道館） ・オリンピックによる水泳教室、水泳デモンストレーション等（アクア）
2	健康体力相談事業	東京体育館	100	100	397	1 全身持久力測定相談、筋力測定相談 （一社）渋谷区医師会の医師等が在駐し、測定機器による測定を実施するとともに、専門家による測定データに基づくトレーニングメニューの作成及び提供 2 栄養相談 管理栄養士によるスポーツ栄養学に基づくカウンセリングを実施 対象：15歳以上（中学生は除く）
3	武道相談事業	東京武道館	201	200	5,634	武道師範等が初心者から経験者までを対象に、武道全般に関する相談を実施

3 スポーツ国際交流事業を通じた次世代のスポーツ選手の育成

(1) スポーツ国際交流事業

	事業名	事業規模		事業内容
		実施時期	参加者数	
1	2023東京国際ユース（U-14）サッカー大会	5/1～6	選手 195人 役員 45人 合計 240人	海外の強豪ユースチームとの試合を通じて、ジュニアユース世代の競技力向上を図るとともに、国を越えた相互理解を深めるなど、次世代育成に貢献 東日本大震災にて被災した地域の選手を招待し、被災地との交流により復興を支援 ・全12チームが参加（海外4都市、東北等4県、東京都） ・4年ぶりに海外都市を招待 ・復興支援のため、2022大会から会場を東京から福島Ｊヴィレッジに移して実施
2	2023ジュニアスポーツアジア交流大会	8/23～29	選手 225人 役員 108人 合計 333人	海外選手との交流試合や指導者交流を通じて、ジュニア世代の競技力向上を図るとともに、国を越えた相互理解を深め、障害のある選手もない選手も一体となって交流できる大会を開催 東日本大震災にて被災した地域の選手を招待し、アジアの選手との交流試合、選手交流会等を実施することにより復興を支援 ・海外11都市、東北等4県、東京都が参加 ・バドミントン・卓球選手役員288人、パラバドミントン・パラ卓球選手役員45人が参加
3	柔道指導者派遣事業	マニラ市 2/2～5	指導者4人派遣 計258人参加	ジュニア選手の技術力向上及び指導者のスキルアップに貢献することを目的として、マニラ市（フィリピン）に柔道指導者を派遣 ・指導者4人、随員職員1人を派遣 ・参加者258人

Ⅱ 公２事業（2025 年デフリンピック大会の準備・運営事業）

1 2025 年デフリンピック大会開催に向けての準備・運営事業

実 施 項 目	期 間	事 業 内 容
競技要項の作成、競技・会場運営計画の検討、 会場所有者及び競技団体との連絡調整	通年	競技団体・会場所有者と協力及び連携を図りながら、簡素で効率的な運営計画を策定するとともに、デフ競技運営に関する知見・ノウハウを収集
選手及び関係者の輸送・宿泊計画の検討	通年	宿泊に関しては、配宿計画の策定、宿泊施設の確保等を実施。輸送に関しては、輸送基本計画を策定
開閉会式の企画・検討	通年	開閉会式のプログラムの検討を実施
表彰式、メダル製作の検討	通年	表彰式に関しては、コンセプトの検討、メダルプレゼンターの検討を実施。メダルに関しては、デザインの検討等を実施
会場警備、飲食、医療救護、ドーピング、清掃等 各種会場オペレーションの検討	通年	大会における警備、飲食、医療救護、ドーピング、清掃等のサービスレベル及び会場における聴覚障害者への情報保障の検討を実施

Ⅲ 収益事業等

1 各体育施設におけるスポーツ活動以外の主な実績

施設名	大 会 名 等	主 催 者	日 程
東京体育館	TREASURE JAPAN 1st Single 「Here I Stand」 リリース記念 ハイタッチイベント	(株) サンライズプロモーション東京	5/3～4
	がんフェア2023 ～AYA世代とともに～	(公財) がん集学的治療研究財団	6/17～18
	令和5年度 障害者就職面接会	東京労働局 職業安定部	6/20
	TAEYEON CONCERT The ODD Of LOVE in JAPAN	(株) キョードー東京	7/8～9
	天月ワンマンライブ 『ハローサマー・グッバイ』 in東京体育館 みつくすじゅーす ～良いスポーツ音楽祭～	(株) ディスクガレージ	9/16～17
	BMSG FES' 23	(株) クリエイティブマンプロダクション	9/23～24
	ACTORS☆LEAGUE in Basketball 2023	(株) キョードー東京	10/11
	FRUITS ZIPPER JAPAN TOUR 2023 -AUTUMN- TOUR FINAL The Parlor of FRUITS ZIPPER	(株) ホットスタッフ・プロモーション	10/28
	新しい学校のリーダーズ 初アリーナワンマン 2023 「HAMIDASHITEIKU」	(株) ホットスタッフ・プロモーション	10/29
	ももいろクローバーZ 公式ファンクラブ 「ANGEL EYES 限定イベント2023」	(株) ハヤシインターナショナルプロモーションズ	11/2～3
	FTISLAND AUTUMN TOUR 2023 ～ F-R-I-E-N-D-S ～	(株) ディスクガレージ	11/23
	UNO MISAKO 5th ANNIVERSARY LIVE TOUR - PEARL LOVE -	(株) ディスクガレージ	12/31
	ABEMA presents RISE ELDORADO 2024	(株) ディスクガレージ	3/17
公 駒 園 比 沢 総 合 クリ 体 育 場	アイディア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2023 関東信越地区大会	関東信越地区高等専門学校体育連盟	10/15
東京武道館	令和5（2023）年度 入学式	学校法人帝京科学大学	4/4
	第56回電気工事士技能競技大会	(一社) 東京電業協会	11/14
	令和6年足立区「二十歳の集い」	足立区	1/8
	第6回トリミニック／第5回トレンニック	学校法人シモゾノ学園 (国際動物専門学校・大宮国際動物専門学校)	2/16
	令和5（2023）年度 卒業式	学校法人帝京科学大学	3/15

2 利用者サービス事業

区 分	自動販売機	貸ロッカー	店舗	駐車場
東 京 体 育 館	39基(注)1	48個(注)2	レストラン・軽食・売店 4か所(注)3	3か所(注)4
駒沢オリンピック公園総合運動場	55基	シューズロッカー 120人分	—	2か所
東 京 武 道 館	18基	8か所(注)2	売店 1か所	1か所
東京アクアティクスセンター(注)5	22基(注)6	—	—	1か所
事 務 局	1基	—	—	—

この他に、撮影許可等あり

(注)1 別に株式会社ティップネスが運営する自動販売機あり

(注)2 別に株式会社ティップネスが運営する貸ロッカーあり

(注)3 別に株式会社ティップネスが運営する店舗あり

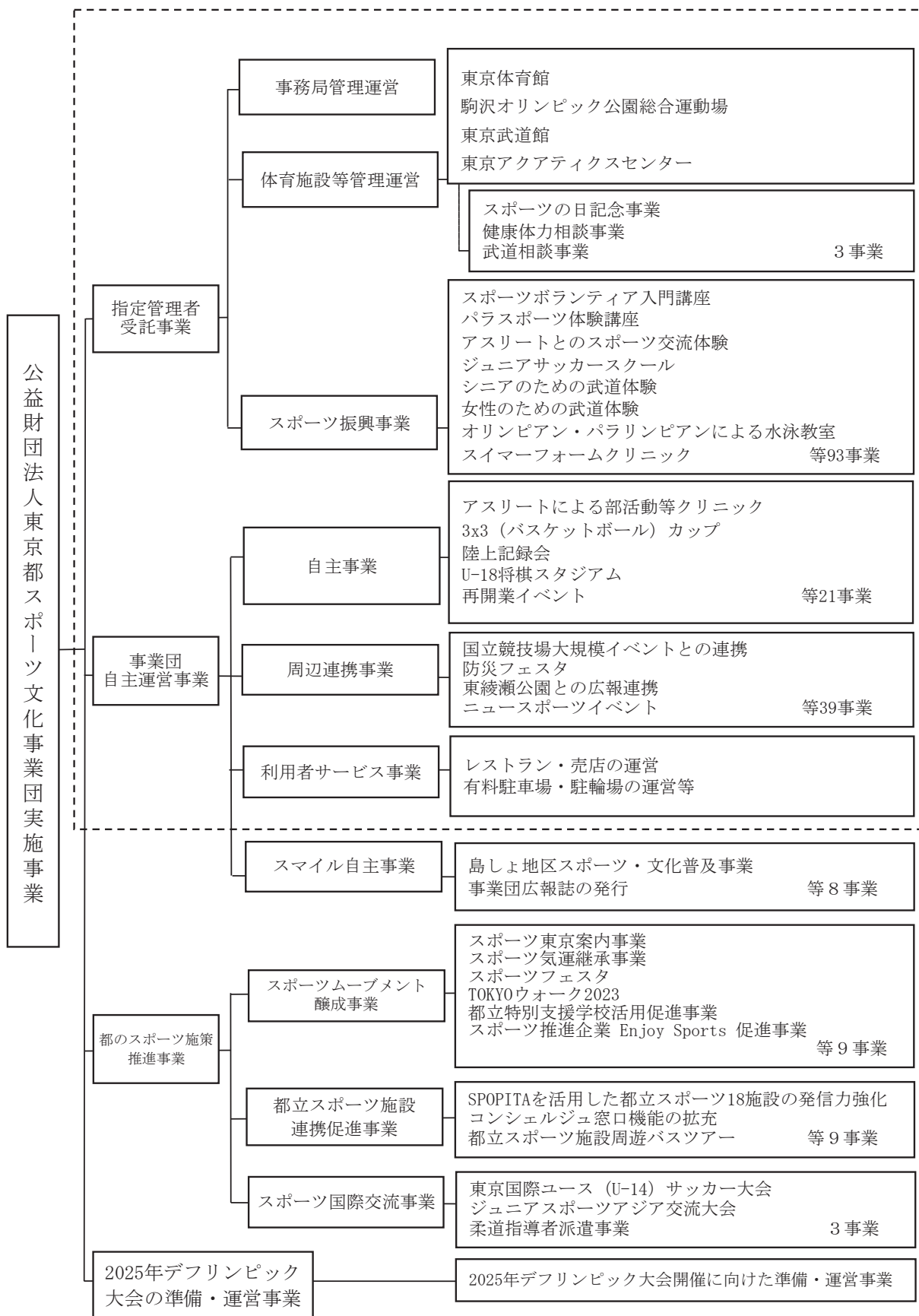
(注)4 うち1か所は駐輪場

(注)5 別にキッチンカー出店・オリジナルグッズ販売・カプセルトイレ販売・シェアサイクル等の運営あり

(注)6 別にオリジナルグッズ販売用及びセントラルスポーツ株式会社が運営する自動販売機あり

IV その他

1 事業体系



※ 点線内は、指定管理者として提案した「指定管理者関連事業」である。

2 役員名簿

(1) 理事、監事

(令和6年3月31日現在)

役 職 名	氏 名	現 職
理 事 長	塩 見 清 仁	常勤
常 務 理 事	越 秀 幸	常勤
理 事	延 與 桂	公益社団法人東京都障害者スポーツ協会会長
理 事	梶 原 洋 子	文教大学名誉教授
理 事	小 林 治 彦	東京商工会議所常務理事
理 事	中 川 冷 子	東京都スケート連盟参与
理 事	平 野 裕 一	法政大学スポーツ健康学部教授
監 事	飯 塚 幸 子	公認会計士
監 事	中 山 正 雄	日本生命保険相互会社顧問

(敬称略・五十音順)

(2) 評議員

(令和6年3月31日現在)

役 職 名	氏 名	現 職
評 議 員	植 田 昌 利	公益財団法人東京都サッカー協会副会長兼専務理事
評 議 員	小 林 健 二	東京都議会議員
評 議 員	四 宮 淳 司	東京都子ども会連合会理事長
評 議 員	白 戸 太 朗	東京都議会議員
評 議 員	武 井 正 子	順天堂大学名誉教授
評 議 員	丹 治 充	あきる野市教育委員会教育長
評 議 員	富 田 幸 博	日本体育大学名誉教授
評 議 員	と や 英 津 子	東京都議会議員
評 議 員	野 川 春 夫	公益財団法人日本スポーツクラブ協会理事長
評 議 員	蓮 沼 千 秋	江戸川区教育委員会教育長
評 議 員	星 大 輔	東京都議会議員
評 議 員	宮 地 元 彦	早稲田大学スポーツ科学学術院教授

(敬称略・五十音順)

3 人事等

年	月	日	事 項
5	4	1	塩見清仁氏 理事長に就任
5	6	2	齋藤武氏 評議員を退任
5	6	12	四宮淳司氏 評議員に就任
5	6	27	小林達雄氏、高橋龍三郎氏 評議員を退任 野川春夫氏、宮地元彦氏 評議員に就任 安藤博氏、今村啓爾氏 理事を退任 延與桂氏、越秀幸氏 理事に就任
5	8	1	越秀幸氏 常務理事に就任
5	10	5	桐谷ひとみ氏 かつまたさとし氏 評議員を退任
5	11	30	小林健二氏、白戸太朗氏 評議員に就任

4 職員数

(令和6年3月31日現在)

事 務 所 名	職 員 数	常勤職員	非常勤職員	合 計
事 務 局		46 ④	1	47
東 京 体 育 館		36 ①	1	37
駒沢オリンピック公園総合運動場		18 ②	0	18
東 京 武 道 館		10 ①	0	10
東京アクアティクスセンター		14 ①	0	14
デフリンピック準備運営本部		20 ⑳	0	20
合 計		144 ㉑	2	146

(注) 1 常勤職員とは、都派遣職員、固有職員、常勤嘱託員及び契約職員をいう。

ただし、都派遣職員のうち研修派遣職員は含まない。

(注) 2 ○数字は管理職で内数である。

(注) 3 人材派遣職員は含まない。

令和5年度

決算書

貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	1,130,378,027	2,177,405,377	△ 1,047,027,350
未収金	521,556,144	1,450,098,170	△ 928,542,026
前払金	12,143,342	10,833,854	1,309,488
仮払金	324,300	0	324,300
預け金	495,500	390,500	105,000
流動資産合計	1,664,897,313	3,638,727,901	△ 1,973,830,588
2 固定資産			
(1) 基本財産	486,049,800	490,346,900	△ 4,297,100
投資有価証券	486,049,800	490,346,900	△ 4,297,100
(2) 特定資産	264,913,381	370,763,691	△ 105,850,310
退職給付引当資産	27,714,670	133,564,980	△ 105,850,310
新規事業準備等引当資産	122,090,000	122,090,000	0
財政調整引当資産	100,000,000	100,000,000	0
スポーツ普及振興積立資産	15,108,711	15,108,711	0
(3) その他固定資産	124,550,084	161,511,074	△ 36,960,990
建物	29,902,828	32,506,838	△ 2,604,010
構築物	6,342,002	7,610,403	△ 1,268,401
什器備品	2,666,014	36,681,488	△ 34,015,474
リース資産	5,301,120	0	5,301,120
敷金	16,857,360	22,816,110	△ 5,958,750
ソフトウェア	1,186,754	2,610,196	△ 1,423,442
電話加入権	0	758,400	△ 758,400
保証金	62,294,006	58,527,639	3,766,367
固定資産合計	875,513,265	1,022,621,665	△ 147,108,400
資 産 合 計	2,540,410,578	4,661,349,566	△ 2,120,938,988
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	982,651,323	2,902,434,067	△ 1,919,782,744
未払消費税等	15,932,500	5,947,500	9,985,000
未払法人税等	220,000	270,000	△ 50,000
前受金	160,700,055	144,227,391	16,472,664
預り金	4,888,691	5,864,606	△ 975,915
仮受金	113,359,867	124,588,011	△ 11,228,144
リース債務	1,325,280	0	1,325,280
賞与引当金	22,347,565	42,216,819	△ 19,869,254
流動負債合計	1,301,425,281	3,225,548,394	△ 1,924,123,113
2 固定負債			
退職給付引当金	27,714,670	133,564,980	△ 105,850,310
リース債務	3,975,840	0	3,975,840
受入保証金	4,477,000	3,870,000	607,000
固定負債合計	36,167,510	137,434,980	△ 101,267,470
負 債 合 計	1,337,592,791	3,362,983,374	△ 2,025,390,583
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	15,108,711	15,108,711	0
出捐金	486,049,800	490,346,900	△ 4,297,100
指定正味財産合計	501,158,511	505,455,611	△ 4,297,100
(うち基本財産への充当額)	(486,049,800)	(490,346,900)	(4,297,100)
(うち特定資産への充当額)	(15,108,711)	(15,108,711)	(0)
2 一般正味財産	701,659,276	792,910,581	△ 91,251,305
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(222,090,000)	(222,090,000)	(0)
正味財産合計	1,202,817,787	1,298,366,192	△ 95,548,405
負債及び正味財産合計	2,540,410,578	4,661,349,566	△ 2,120,938,988

貸借対照表内訳表

令和6年3月31日現在

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計		公益目的事業会計小計
	スポーツ事業会計	デフリンピック事業会計	
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	625,052,066	121,473,795	746,525,861
未収金	472,229,813	0	472,229,813
前払金	5,606,484	0	5,606,484
仮払金	0	0	0
預け金	0	0	0
内部会計貸付金	0	0	0
流動資産合計	1,102,888,363	121,473,795	1,224,362,158
2 固定資産			
(1) 基本財産	0	0	0
投資有価証券	0	0	0
(2) 特定資産	97,327,369	0	97,327,369
退職給付引当資産	0	0	0
新規事業準備等引当資産	82,218,658	0	82,218,658
財政調整引当資産	0	0	0
スポーツ普及振興積立資産	15,108,711	0	15,108,711
(3) その他固定資産	109,533,989	0	109,533,989
建物	22,420,550	0	22,420,550
構築物	6,342,002	0	6,342,002
什器備品	639,934	0	639,934
リース資産	0	0	0
敷金	16,857,360	0	16,857,360
ソフトウェア	980,137	0	980,137
保証金	62,294,006	0	62,294,006
固定資産合計	206,861,358	0	206,861,358
資 産 合 計	1,309,749,721	121,473,795	1,431,223,516
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	859,363,619	100,728,187	960,091,806
未払消費税等	0	0	0
未払法人税等	0	0	0
前受金	156,971,215	0	156,971,215
預り金	10,875,024	0	10,875,024
仮受金	72,379,900	0	72,379,900
内部会計借入金	75,084,935	20,745,608	95,830,543
リース債務	0	0	0
賞与引当金	18,234,673	0	18,234,673
流動負債合計	1,192,909,366	121,473,795	1,314,383,161
2 固定負債			
退職給付引当金	0	0	0
リース債務	0	0	0
受入保証金	1,321,500	0	1,321,500
固定負債合計	1,321,500	0	1,321,500
負 債 合 計	1,194,230,866	121,473,795	1,315,704,661
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	15,108,711	0	15,108,711
出捐金	0	0	0
指定正味財産合計	15,108,711	0	15,108,711
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(15,108,711)	(0)	(15,108,711)
2 一般正味財産	100,410,144	0	100,410,144
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(82,218,658)	(0)	(82,218,658)
正味財産合計	115,518,855	0	115,518,855
負債及び正味財産合計	1,309,749,721	121,473,795	1,431,223,516

(単位:円)

収益事業等会計	法人会計	内部取引等消去	合 計
付帯事業会計			
143,033,938	240,818,228		1,130,378,027
48,889,940	436,391		521,556,144
101,816	6,435,042		12,143,342
0	324,300		324,300
485,500	10,000		495,500
	264,390,262	△ 264,390,262	0
192,511,194	512,414,223	△ 264,390,262	1,664,897,313
0	486,049,800		486,049,800
0	486,049,800		486,049,800
39,871,342	127,714,670		264,913,381
0	27,714,670		27,714,670
39,871,342	0		122,090,000
0	100,000,000		100,000,000
0	0		15,108,711
9,036,401	5,979,694		124,550,084
7,482,278	0		29,902,828
0	0		6,342,002
1,554,123	471,957		2,666,014
0	5,301,120		5,301,120
0	0		16,857,360
0	206,617		1,186,754
0	0		62,294,006
48,907,743	619,744,164	0	875,513,265
241,418,937	1,132,158,387	△ 264,390,262	2,540,410,578
13,761,358	8,798,159		982,651,323
0	15,932,500		15,932,500
0	220,000		220,000
3,728,840	0		160,700,055
△ 7,634,455	1,648,122		4,888,691
40,979,967	0		113,359,867
168,559,719	0	△ 264,390,262	0
0	1,325,280		1,325,280
997,202	3,115,690		22,347,565
220,392,631	31,039,751	△ 264,390,262	1,301,425,281
0	27,714,670		27,714,670
0	3,975,840		3,975,840
3,155,500	0		4,477,000
3,155,500	31,690,510	0	36,167,510
223,548,131	62,730,261	△ 264,390,262	1,337,592,791
0	0		15,108,711
0	486,049,800		486,049,800
0	486,049,800		501,158,511
(0)	(486,049,800)		(486,049,800)
(0)	(0)		(15,108,711)
17,870,806	583,378,326		701,659,276
(0)	(0)		(0)
(39,871,342)	(100,000,000)		(222,090,000)
17,870,806	1,069,428,126	0	1,202,817,787
241,418,937	1,132,158,387	△ 264,390,262	2,540,410,578

正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	935,000	1,023,479	△ 88,479
基本財産受取利息	935,000	1,023,479	△ 88,479
事業収益	3,106,236,006	6,651,960,850	△ 3,545,724,844
指定管理料収益	1,642,074,000	2,487,340,000	△ 845,266,000
受取調査受託金収益	0	2,984,163,600	△ 2,984,163,600
体育施設利用料収益	975,943,184	794,212,213	181,730,971
施設使用料収益	161,197,752	103,556,742	57,641,010
受取光熱水費収益	8,641,511	6,540,791	2,100,720
参加料収益	38,094,659	76,958,218	△ 38,863,559
協賛金収益	803,000	2,318,000	△ 1,515,000
広告料収益	1,034,000	2,420,000	△ 1,386,000
管理手数料収益	82,625,900	49,987,286	32,638,614
負担金収益	179,522,000	140,064,000	39,458,000
受託金収益	16,300,000	4,400,000	11,900,000
受取補助金等	268,792,138	358,821,603	△ 90,029,465
受取都補助金	268,792,138	358,821,603	△ 90,029,465
受取負担金	1,052,898,092	816,018,918	236,879,174
受取都負担金	1,052,898,092	816,018,918	236,879,174
受取寄付金	500,000	0	500,000
受取特定寄付金	500,000	0	500,000
雑収益	8,277,200	3,472,304	4,804,896
受取利息	521	182	339
雑収益	8,276,679	3,472,122	4,804,557
経常収益計	4,437,638,436	7,831,297,154	△ 3,393,658,718
(2) 経常費用			
事業費	4,159,141,396	7,684,747,757	△ 3,525,606,361
給料手当	369,045,994	642,617,775	△ 273,571,781
臨時雇賃金	595,476	4,912,276	△ 4,316,800
賞与引当金繰入額	19,231,875	39,444,099	△ 20,212,224
退職給付費用	0	12,799,870	△ 12,799,870
福利厚生費	121,324,736	148,366,435	△ 27,041,699
会議費	124,248	5,644	118,604
共益費	260,060	3,146,220	△ 2,886,160
旅費交通費	12,039,092	7,912,901	4,126,191
通信運搬費	19,658,110	22,862,793	△ 3,204,683
減価償却費	6,629,394	30,759,305	△ 24,129,911
消耗什器備品費	9,508,180	84,973,295	△ 75,465,115
消耗品費	47,228,564	63,742,369	△ 16,513,805
修繕費	5,471,916	15,257,158	△ 9,785,242
印刷製本費	16,079,092	27,781,394	△ 11,702,302
新聞図書費	550,698	2,318,019	△ 1,767,321
光熱水費	760,538,307	651,482,093	109,056,214
賃借料	142,851,390	158,366,543	△ 15,515,153
保険料	4,040,288	6,571,354	△ 2,531,066
諸謝金	23,017,572	34,067,766	△ 11,050,194
租税公課	63,323,748	57,776,171	5,547,577
支払負担金	1,518,011,558	1,890,555,884	△ 372,544,326
工事請負費	180,400	464,735	△ 284,335
委託費	1,004,410,921	3,763,145,493	△ 2,758,734,572
支払手数料	14,464,311	14,782,634	△ 318,323
諸会費	173,000	414,400	△ 241,400
雑費	382,466	221,131	161,335

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
管理費	152,321,720	168,156,932	△ 15,835,212
役員報酬	15,522,000	18,568,730	△ 3,046,730
給料手当	24,972,171	28,383,245	△ 3,411,074
臨時雇賃金	1,626,303	1,598,113	28,190
賞与引当金繰入額	3,115,690	2,772,720	342,970
退職給付費用	7,197,070	7,928,640	△ 731,570
福利厚生費	9,886,462	12,733,703	△ 2,847,241
会議費	15,984	0	15,984
共益費	1,150,932	1,661,928	△ 510,996
旅費交通費	870,891	590,677	280,214
通信運搬費	4,394,493	5,481,111	△ 1,086,618
減価償却費	3,063,850	3,005,965	57,885
消耗品費	3,064,922	3,725,486	△ 660,564
印刷製本費	1,531,101	1,732,374	△ 201,273
新聞図書費	125,510	191,762	△ 66,252
光熱水費	1,794,732	1,871,285	△ 76,553
賃借料	31,034,952	28,386,958	2,647,994
保険料	41,965	110,361	△ 68,396
諸謝金	6,972,600	5,906,200	1,066,400
租税公課	5,873,352	7,369,371	△ 1,496,019
支払負担金	208,000	330,000	△ 122,000
委託費	27,749,013	33,382,067	△ 5,633,054
支払手数料	875,189	2,190,886	△ 1,315,697
諸会費	154,300	104,300	50,000
雑費	1,080,238	131,050	949,188
経常費用計	4,311,463,116	7,852,904,689	△ 3,541,441,573
当期経常増減額	126,175,320	△ 21,607,535	147,782,855
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	126,175,320	△ 21,607,535	147,782,855
法人税・住民税等	220,000	270,000	△ 50,000
当期一般正味財産増減額	125,955,320	△ 21,877,535	147,832,855
一般正味財産期首残高	792,910,581	814,788,116	△ 21,877,535
埋蔵文化財事業移管による一般正味財産減少額	217,206,625	0	217,206,625
一般正味財産期末残高	701,659,276	792,910,581	△ 91,251,305
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	0	0	0
基本財産評価損益等	△ 4,297,100	△ 9,653,100	5,356,000
当期指定正味財産増減額	△ 4,297,100	△ 9,653,100	5,356,000
指定正味財産期首残高	505,455,611	515,108,711	△ 9,653,100
指定正味財産期末残高	501,158,511	505,455,611	△ 4,297,100
III 正味財産期末残高	1,202,817,787	1,298,366,192	△ 95,548,405

正味財産増減計算書内訳表

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計		公益目的事業会計小計
	スポーツ事業会計	デフリンピック事業会計	
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0
事業収益	2,426,203,298	0	2,426,203,298
指定管理料収益	1,524,643,000	0	1,524,643,000
体育施設利用料収益	837,851,736	0	837,851,736
施設使用料収益	147,000	0	147,000
受取光熱水費収益	965,903	0	965,903
参加料収益	38,094,659	0	38,094,659
協賛金収益	803,000	0	803,000
広告料収益	1,034,000	0	1,034,000
管理手数料収益	0	0	0
負担金収益	6,364,000	0	6,364,000
受託金収益	16,300,000	0	16,300,000
受取補助金等	245,704,935	23,087,203	268,792,138
受取都補助金	245,704,935	23,087,203	268,792,138
受取負担金	852,877,289	165,934,803	1,018,812,092
受取都負担金	852,877,289	165,934,803	1,018,812,092
受取寄付金	0	500,000	500,000
受取特定寄付金	0	500,000	500,000
雑収益	7,871,106	0	7,871,106
受取利息	467	0	467
雑収益	7,870,639	0	7,870,639
経常収益計	3,532,656,628	189,522,006	3,722,178,634
(2) 経常費用			
事業費	3,441,760,965	189,522,006	3,631,282,971
給料手当	353,239,283	0	353,239,283
臨時雇賃金	595,476	0	595,476
賞与引当金繰入額	18,234,673	0	18,234,673
福利厚生費	95,652,236	23,071,468	118,723,704
会議費	124,248	0	124,248
共益費	260,060	0	260,060
旅費交通費	4,714,814	7,314,386	12,029,200
通信運搬費	17,673,580	766,531	18,440,111
減価償却費	4,377,873	0	4,377,873
消耗什器備品費	8,965,000	0	8,965,000
消耗品費	38,363,168	2,952,779	41,315,947
修繕費	5,471,916	0	5,471,916
印刷製本費	15,943,633	128,689	16,072,322
新聞図書費	538,698	12,000	550,698
光熱水費	489,089,100	6,111,400	495,200,500
賃借料	110,075,441	32,058,309	142,133,750
保険料	4,024,553	15,735	4,040,288
諸謝金	22,014,880	1,002,692	23,017,572
租税公課	56,757,186	746,508	57,503,694
支払負担金	1,301,362,834	152,430	1,301,515,264
工事請負費	180,400	0	180,400
委託費	885,198,004	114,824,731	1,000,022,735
支払手数料	8,376,443	336,348	8,712,791
諸会費	145,000	28,000	173,000
雑費	382,466	0	382,466

(単位:円)

収益事業等会計	法人会計	内部取引等消去	合 計
付帯事業会計			
0	935,000		935,000
0	935,000		935,000
562,601,708	117,431,000		3,106,236,006
0	117,431,000		1,642,074,000
138,091,448	0		975,943,184
161,050,752	0		161,197,752
7,675,608	0		8,641,511
0	0		38,094,659
0	0		803,000
0	0		1,034,000
82,625,900	0		82,625,900
173,158,000	0		179,522,000
0	0		16,300,000
0	0		268,792,138
0	0		268,792,138
0	34,086,000		1,052,898,092
0	34,086,000		1,052,898,092
0	0		500,000
0	0		500,000
166,044	240,050		8,277,200
54	0		521
165,990	240,050		8,276,679
562,767,752	152,692,050	0	4,437,638,436
527,858,425	0		4,159,141,396
15,806,711	0		369,045,994
0	0		595,476
997,202	0		19,231,875
2,601,032	0		121,324,736
0	0		124,248
0	0		260,060
9,892	0		12,039,092
1,217,999	0		19,658,110
2,251,521	0		6,629,394
543,180	0		9,508,180
5,912,617	0		47,228,564
0	0		5,471,916
6,770	0		16,079,092
0	0		550,698
265,337,807	0		760,538,307
717,640	0		142,851,390
0	0		4,040,288
0	0		23,017,572
5,820,054	0		63,323,748
216,496,294	0		1,518,011,558
0	0		180,400
4,388,186	0		1,004,410,921
5,751,520	0		14,464,311
0	0		173,000
0	0		382,466

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計		公益目的事業会計小計
	スポーツ事業会計	デフリンピック事業会計	
管理費	0	0	0
役員報酬	0	0	0
給料手当	0		0
臨時雇賃金	0	0	0
賞与引当金繰入額	0	0	0
退職給付費用	0	0	0
福利厚生費	0	0	0
会議費	0	0	0
共益費	0	0	0
旅費交通費	0	0	0
通信運搬費	0	0	0
減価償却費	0	0	0
消耗品費	0	0	0
印刷製本費	0	0	0
新聞図書費	0	0	0
光熱水費	0	0	0
賃借料	0	0	0
保険料	0	0	0
諸謝金	0	0	0
租税公課	0	0	0
支払負担金	0	0	0
委託費	0	0	0
支払手数料	0	0	0
諸会費	0	0	0
雑費	0	0	0
経常費用計	3,441,760,965	189,522,006	3,631,282,971
当期経常増減額	90,895,663	0	90,895,663
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	90,895,663	0	90,895,663
他会計振替額	34,909,327	0	34,909,327
税引前当期一般正味財産増減額	125,804,990	0	125,804,990
法人税・住民税等	0	0	0
当期一般正味財産増減額	125,804,990	0	125,804,990
一般正味財産期首残高	△ 25,394,846	0	△ 25,394,846
一般正味財産期末残高	100,410,144	0	100,410,144
II 指定正味財産増減の部			
受取負担金	0	0	0
受取寄付金			0
一般正味財産への振替額	0	0	0
基本財産評価損益等	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	15,108,711	0	15,108,711
指定正味財産期末残高	15,108,711	0	15,108,711
III 正味財産期末残高	115,518,855	0	115,518,855

(注) 一般正味財産期首残高の合計は正味財産増減計算書の一般正味財産期首残高から埋蔵文化財事業移管による一般正味財産減少額を控除した金額となります。

(単位:円)

収益事業等会計	法人会計	内部取引等消去	合 計
付帯事業会計			
0	152,321,720		152,321,720
0	15,522,000		15,522,000
0	24,972,171		24,972,171
0	1,626,303		1,626,303
0	3,115,690		3,115,690
0	7,197,070		7,197,070
0	9,886,462		9,886,462
0	15,984		15,984
0	1,150,932		1,150,932
0	870,891		870,891
0	4,394,493		4,394,493
0	3,063,850		3,063,850
0	3,064,922		3,064,922
0	1,531,101		1,531,101
0	125,510		125,510
0	1,794,732		1,794,732
0	31,034,952		31,034,952
0	41,965		41,965
0	6,972,600		6,972,600
0	5,873,352		5,873,352
0	208,000		208,000
0	27,749,013		27,749,013
0	875,189		875,189
0	154,300		154,300
0	1,080,238		1,080,238
527,858,425	152,321,720	0	4,311,463,116
34,909,327	370,330	0	126,175,320
0	0	0	0
0	0	0	0
0	0	0	0
34,909,327	370,330	0	126,175,320
△ 34,909,327	0		0
0	370,330	0	126,175,320
0	220,000		220,000
0	150,330	0	125,955,320
17,870,806	583,227,996	0	575,703,956
17,870,806	583,378,326	0	701,659,276
0	0		0
0	0		0
0	0	0	0
0	△ 4,297,100	0	△ 4,297,100
0	△ 4,297,100	0	△ 4,297,100
0	490,346,900	0	505,455,611
0	486,049,800	0	501,158,511
17,870,806	1,069,428,126	0	1,202,817,787

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

市場価格のない株式等以外のものは時価法を採用している。

(2) 固定資産(リース資産を含む。)の減価償却の方法

定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金は、職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

退職給付引当金は、職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務見込額に基づき、計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	490,346,900	9,653,100	13,950,200	486,049,800
小 計	490,346,900	9,653,100	13,950,200	486,049,800
特定資産				
退職給付引当資産	133,564,980	7,197,070	113,047,380	27,714,670
新規事業準備等引当資産	122,090,000	0	0	122,090,000
財政調整引当資産	100,000,000	0	0	100,000,000
スポーツ普及振興積立資産	15,108,711	0	0	15,108,711
小 計	370,763,691	7,197,070	113,047,380	264,913,381
合 計	861,110,591	16,850,170	126,997,580	750,963,181

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	486,049,800	(486,049,800)	—	—
小 計	486,049,800	(486,049,800)	—	—
特定資産				
退職給付引当資産	27,714,670	—	—	(27,714,670)
新規事業準備等引当資産	122,090,000	—	(122,090,000)	—
財政調整引当資産	100,000,000	—	(100,000,000)	—
スポーツ普及振興積立資産	15,108,711	(15,108,711)	—	—
小 計	264,913,381	(15,108,711)	(222,090,000)	(27,714,670)
合 計	750,963,181	(501,158,511)	(222,090,000)	(27,714,670)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額等及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	42,540,817	12,637,989	29,902,828
構 築 物	47,211,150	40,869,148	6,342,002
什 器 備 品	24,291,744	21,625,730	2,666,014
ソフトウェア	8,114,703	6,927,949	1,186,754
リ ー ス 資 産	6,626,400	1,325,280	5,301,120
合 計	128,784,814	83,386,096	45,398,718

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
自主事業に係る運営費補助金 (交付者:東京都)	0	245,704,935	245,704,935	0	—
運営費補助金 (交付者:東京都)	0	23,087,203	23,087,203	0	—
合 計	0	268,792,138	268,792,138	0	

(注) 上記補助金は単年度経費補助であるため、前期末残高、当期末残高は発生しない。

6 その他

(1) 公益目的事業会計における貸借対照表内訳表及び正味財産増減計算書内訳表の事業区分

公益目的事業会計の内訳は、前事業年度においては、スポーツ事業会計と埋蔵文化財事業会計であったが、埋蔵文化財事業を譲渡し、新たにデフリンピック事業を開始したため、当事業年度においては、スポーツ事業会計とデフリンピック事業会計である。

附 属 明 細 書

1 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載しているため省略する。

2 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期 首 残 高	当期増加額	当 期 減 少 額		期 末 残 高
			目 的 使 用	そ の 他	
賞与引当金	42,216,819	22,347,565	19,142,836	23,073,983	22,347,565
退職給付引当金	133,564,980	7,197,070	575,280	112,472,100	27,714,670

(注) 当期減少額(その他)は、埋蔵文化財事業の移管によるものである。

令和6年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金	東京体育館・駒沢運動場・東京武道館 アクアティクスセンター	運転資金として	3,923,083
	デフリンピック準備運営本部	運転資金として	53,407
預金			
普通預金	みずほ銀行公務第一部(公益・法人)	運転資金として	878,961,766
	三菱UFJ銀行東京公務部	運転資金として	547,184
	三菱UFJ銀行原宿支店(東体公益)	運転資金として	60,484,225
	三菱UFJ銀行原宿支店(東体収益)	運転資金として	14,867,950
	きらぼし銀行世田谷支店(駒沢指定管理)	運転資金として	3,740
	きらぼし銀行世田谷支店(駒沢1)	運転資金として	15,498,594
	きらぼし銀行世田谷支店(駒沢2)	運転資金として	7,710,118
	きらぼし銀行世田谷支店(駒沢3)	運転資金として	7,485,344
	三井住友銀行綾瀬支店(武道館利用料金)	運転資金として	3,505,529
	三井住友銀行綾瀬支店(武道館振興)	運転資金として	1,416,114
	三井住友銀行綾瀬支店(武道館体育)	運転資金として	415,795
	三井住友銀行綾瀬支店(武道館指定管理)	運転資金として	3,300
	ゆうちょ銀行	運転資金として	574,293
	きらぼし銀行本店営業部(寄付金)	運転資金として	200
	きらぼし銀行本店営業部	運転資金として	233,900
	普)みずほ都庁出張所(アクア利用料金)	運転資金として	10,680,197
	普)みずほ都庁出張所(アクア参加料)	運転資金として	32,804
	普)みずほ都庁出張所(アクア収益)	運転資金として	2,560,096
	みずほ銀行公務第一部(デフ)	運転資金として	120,770,399
	普通預金みずほ銀行都庁出張所(デフ前渡受者)	運転資金として	149,989
	普通預金みずほ銀行都庁出張所(デフ寄付協賛受口)	運転資金として	500,000
未収金	東京体育館・駒沢運動場・東京武道館 アクアティクスセンター	スポーツ事業会計・付帯事業会計・法人会計未収金	521,556,144
前払金	東京体育館・駒沢運動場・東京武道館 アクアティクスセンター	スポーツ事業会計・付帯事業会計・法人会計前払金	12,143,342
仮払金	事務局事務所	法人会計仮払金	324,300
預け金	東京体育館・アクアティクスセンター・事務局	付帯事業会計・法人会計預け金	495,500
流動資産合計			1,664,897,313
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	国債・東京都公債	運用益を法人会計の財源として使用している	486,049,800
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	普通預金 みずほ銀行公務第一部(法人)	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	27,714,670
新規事業準備等引当資産	普通預金 みずほ銀行公務第一部	スポーツ事業会計・付帯事業会計の積立資産であり、新規事業準備資金として管理されている	120,000,000
	普通預金 きらぼし銀行本店営業部	スポーツ事業会計の積立資産であり、新規事業準備資金として管理されている	2,090,000
財政調整引当資産	普通預金 みずほ銀行公務第一部	法人会計の積立資産であり、調整資金として管理されている	100,000,000
スポーツ普及振興積立資産	普通預金 みずほ銀行公務第一部	スポーツ事業会計の積立資産であり、スポーツ普及振興事業準備資金として管理されている	15,108,711

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(3)その他固定資産 建 物	東京体育館健康体力相談室冷暖房設備外3件	公益目的保有財産であり、スポーツ事業会計の運営に使用している	22,420,550
	東京体育館サブアリーナカフェ給排水設備外3件	付帯事業会計の運営に使用している	7,482,278
構築物	東京体育館サブアリーナ中庭施設外2件	公益目的保有財産であり、スポーツ事業会計の運営に使用している	6,342,002
什器備品	東京体育館健康体力相談室空気清浄機外18件	公益目的保有財産であり、スポーツ事業会計・法人会計の運営に使用している	1,111,891
	東京武道館駐車場設備	付帯事業会計の運営に使用している	1,554,123
リース資産	会計システム	法人会計の運営にて使用している	5,301,120
敷 金	事務局事務所	公益目的保有財産であり、スポーツ事業会計の運営に使用している	16,857,360
ソフトウェア	グループウェアシステム外1件	公益目的保有財産であり、スポーツ事業会計の運営に使用している	980,137
	勤怠管理システム	法人会計の運営に使用している	206,617
保証金	プリペイドカード・ICカードに係る供託金	公益目的保有財産であり、スポーツ事業会計の運営に使用するため供託している	62,294,006
固定資産合計			875,513,265
資産合計			2,540,410,578
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	東京体育館・駒沢運動場・東京武道館・アクアティクスセンター	スポーツ事業会計・付帯事業会計・法人会計未払金	881,923,136
	デフリンピック準備運営本部	デフリンピック事業会計未払金	100,728,187
未払消費税等	東京体育館・駒沢運動場・東京武道館・アクアティクスセンター・デフリンピック準備運営本部	法人会計未払消費税等	15,932,500
未払法人税等	東京体育館・駒沢運動場・東京武道館・アクアティクスセンター	法人会計未払法人税等	220,000
前受金	東京体育館・駒沢運動場・東京武道館 アクアティクスセンター	スポーツ事業会計・付帯事業会計前受金	160,700,055
預り金	東京体育館・駒沢運動場・東京武道館・アクアティクスセンター	スポーツ事業会計・付帯事業会計・法人会計預り金	4,888,691
仮受金	東京体育館・駒沢運動場・東京武道館	スポーツ事業会計・付帯事業会計仮受金	113,359,867
リース債務	会計システム	法人会計リース債務	1,325,280
賞与引当金	東京体育館・駒沢運動場・東京武道館・アクアティクスセンター	全ての事業に従事する職員の賞与の引当金である	22,347,565
流動負債合計			1,301,425,281
2 固定負債			
退職給付引当金	東京体育館・駒沢運動場・東京武道館・アクアティクスセンター	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	27,714,670
リース債務	会計システム	法人会計リース債務	3,975,840
受入保証金	事業団ICカードデポジット分	スポーツ事業会計・付帯事業会計	4,477,000
固定負債合計			36,167,510
負債合計			1,337,592,791
正味財産合計			1,202,817,787

キャッシュ・フロー計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 事業活動によるキャッシュ・フロー			
1 税引前当期一般正味財産増減額	126,175,320	△ 21,607,535	147,782,855
2 キャッシュ・フローへの調整額			
① 減価償却費	9,693,244	33,765,270	△ 24,072,026
② 資産除却費	2	0	2
③ 未収金の増減額	356,138,358	△ 502,801,219	858,939,577
④ 前払金の増減額	△ 2,903,218	7,716,740	△ 10,619,958
⑤ 仮払金の増減額	△ 324,300	0	△ 324,300
⑥ 預け金の増減額	△ 105,000	1,672,000	△ 1,777,000
⑦ 未払金の増減額	△ 219,717,736	1,100,063,859	△ 1,319,781,595
⑧ 未払消費税等の増減額	9,985,000	△ 8,230,000	18,215,000
⑨ 前受金の増減額	16,472,664	△ 2,017,704	18,490,368
⑩ 預り金の増減額	△ 507,403	△ 8,810,311	8,302,908
⑪ 仮受金の増減額	△ 11,228,144	11,695,008	△ 22,923,152
⑫ 賞与引当金の増減額	3,204,729	△ 4,752,898	7,957,627
⑬ 退職給付引当金の増減額	6,621,790	△ 1,576,090	8,197,880
⑭ 受入保証金の増減額	607,000	2,542,000	△ 1,935,000
小 計	167,936,986	629,266,655	△ 461,329,669
3 法人税等の支払額	△ 270,000	△ 270,000	0
事業活動によるキャッシュ・フロー	293,842,306	607,389,120	△ 313,546,814
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1 投資活動収入			
① 特定資産取崩収入			
退職給付引当資産取崩収入	575,280	22,304,600	△ 21,729,320
② 敷金戻り収入	5,958,750	0	5,958,750
投資活動収入計	6,534,030	22,304,600	△ 15,770,570
2 投資活動支出			
① 特定資産取得支出			
退職給付引当資産取得支出	16,298,190	20,728,510	△ 4,430,320
② 固定資産取得支出			
什器備品取得支出	0	589,600	△ 589,600
保証金支出	3,766,367	0	3,766,367
投資活動支出計	20,064,557	21,318,110	△ 1,253,553
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 13,530,527	986,490	△ 14,517,017
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1 財務活動収入			
財務活動支出計	0	0	0
2 財務活動支出			
リース債務の返済による支出	1,325,280	848,880	476,400
財務活動支出計	1,325,280	848,880	476,400
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,325,280	△ 848,880	△ 476,400
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0	0
V 現金及び現金同等物の増減額	278,986,499	607,526,730	△ 328,540,231
VI 現金及び現金同等物の期首残高	2,177,405,377	1,569,878,647	607,526,730
VII 埋蔵文化財事業移管による減少額	△ 1,326,013,849	0	△ 1,326,013,849
VIII 現金及び現金同等物の期末残高	1,130,378,027	2,177,405,377	△ 1,047,027,350

(注)1 本キャッシュ・フロー計算書は、内部で利用するために、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して作成されている。

(注)2 資金の範囲 資金の範囲には、現金及び現金同等物を含めている。

(注)3 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている金額との関係は以下のとおりである。

前期末		当期末	
現金預金勘定	2,177,405,377円	現金預金勘定	1,130,378,027円
預入期間が3か月を超える定期預金	△0円	預入期間が3か月を超える定期預金	△0円
現金及び現金同等物	2,177,405,377円	現金及び現金同等物	1,130,378,027円

監 査 報 告 書

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団

理 事 長 塩 見 清 仁 殿

令和 6 年 6 月 5 日

監 事 中山 正雄 

監 事 飯塚 幸子 

私たち監事は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの令和5年度における会計及び業務の監査を行いました。その結果につき次のとおり報告します。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて、計算書類の正確性を検討しました。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討しました。

2 監査意見

- (1) 貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）、財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の財産及び損益の状況を正しく示していると認めます。
- (2) 事業報告書の内容は、真実であると認めます。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な過失はないと認めます。

令和5年度決算（案）の概要

令和6年6月11日
公益財団法人東京都スポーツ文化事業団

1 貸借対照表概要について

《総括》
当期の資産合計は 2,540,410 千円余、負債合計は 1,337,592 千円余で、正味財産合計は 1,202,817 千円余となり、正味財産は前年度と比べて 95,548 千円余の減となった。

2 正味財産増減計算書概要について

《総括》
当事業団の会計は、「スポーツ事業会計」「デフリンピック事業会計」「付帯事業会計」「法人会計」の4会計で構成されており、合計で、経常収益は 4,437,638 千円余、経常費用は 4,311,463 千円余、当期経常増減額は 126,175 千円余の増となった。
また、当期経常外増減額が 0 円のため、税引前当期一般正味財産増減額は 126,175 千円余の増であり、これに法人税等 220 千円が計上され、当期一般正味財産増減額は 125,955 千円余の増となった。

《スポーツ事業会計》

○ 経常収益は 3,532,656 千円余、経常費用は 3,441,760 千円余となり、当期経常増減額は 90,895 千円余の増となった。

《デフリンピック事業会計》

○ 令和5年度から新たに開始したデフリンピック事業会計の経常収益は 189,522 千円余、経常費用は 189,522 千円余となり、都からの補助金・負担金等により、当期経常増減額は収支相償となった。

《付帯事業会計》

○ 経常収益は 562,767 千円余、経常費用は 527,858 千円余となり、当期経常増減額は 34,909 千円余の増となった。
○ 付帯事業会計で益となった 34,909 千円余はスポーツ事業会計に振替え、公益目的事業に充当する。

《法人会計》

○ 経常収益は 152,692 千円余、経常費用は 152,321 千円余となり、当期経常増減額は 370 千円余の増となった。

3 その他

○ 指定正味財産には、事業団が保有する投資有価証券等を計上している。当期指定正味財産は 4,297 千円余の減となった。
○ 正味財産期末残高は、令和4年度を以て埋蔵文化財事業が他団体へ移管されたことによる一般正味財産減少額（217,206 千円余）を含め、前年度と比べて 95,548 千円余の減となった。

1 貸借対照表概要

科 目	5年度決算額 合 計	公益目的事業会計		公益目的事業 会計小計	収益事業等会計 付帯事業会計	法 人 会 計	内部取引等消去	前 年 度	増 減
		スポーツ事業会計	デフリンピック事業会計						
流 動 資 産	1,664,897,313	1,102,888,363	121,473,795	1,224,362,158	192,511,194	512,414,223	△ 264,390,262	3,638,727,901	△ 1,973,830,588
固 定 資 産	875,513,265	206,861,358	0	206,861,358	48,907,743	619,744,164	0	1,022,621,665	△ 147,108,400
資 産 合 計	2,540,410,578	1,309,749,721	121,473,795	1,431,223,516	241,418,937	1,132,158,387	△ 264,390,262	4,661,349,566	△ 2,120,938,988
流 動 負 債	1,301,425,281	1,192,909,366	121,473,795	1,314,383,161	220,392,631	31,039,751	△ 264,390,262	3,225,548,394	△ 1,924,123,113
固 定 負 債	36,167,510	1,321,500	0	1,321,500	3,155,500	31,690,510	0	137,434,980	△ 101,267,470
負 債 合 計	1,337,592,791	1,194,230,866	121,473,795	1,315,704,661	223,548,131	62,730,261	△ 264,390,262	3,362,983,374	△ 2,025,390,583
指定正味財産	501,158,511	15,108,711	0	15,108,711	0	486,049,800	0	505,455,611	△ 4,297,100
一般正味財産	701,659,276	100,410,144	0	100,410,144	17,870,806	583,378,326	0	792,910,581	△ 91,251,305
正味財産合計	1,202,817,787	115,518,855	0	115,518,855	17,870,806	1,069,428,126	0	1,298,366,192	△ 95,548,405
負 債 及 び 正味財産合計	2,540,410,578	1,309,749,721	121,473,795	1,431,223,516	241,418,937	1,132,158,387	△ 264,390,262	4,661,349,566	△ 2,120,938,988

2 正味財産増減計算書概要

科 目	5年度決算額 合 計	公益目的事業会計		公益目的事業 会計小計	収益事業等会計 付帯事業会計	法 人 会 計	内部取引等消去	前 年 度	増 減
		スポーツ事業会計	デフリンピック事業会計						
経 常 収 益	4,437,638,436	3,532,656,628	189,522,006	3,722,178,634	562,767,752	152,692,050	0	7,831,297,154	△ 3,393,658,718
経 常 費 用	4,311,463,116	3,441,760,965	189,522,006	3,631,282,971	527,858,425	152,321,720	0	7,852,904,689	△ 3,541,441,573
当期経常増減額	126,175,320	90,895,663	0	90,895,663	34,909,327	370,330	0	△ 21,607,535	147,782,855
経 常 外 収 益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経 常 外 費 用	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	34,909,327	0	34,909,327	△ 34,909,327	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	126,175,320	125,804,990	0	125,804,990	0	370,330	0	△ 21,607,535	147,782,855
法 人 税 等	220,000	0	0	0	0	220,000	0	270,000	△ 50,000
当期一般正味財産増減額	125,955,320	125,804,990	0	125,804,990	0	150,330	0	△ 21,877,535	147,832,855
当期指定正味財産増減額	△ 4,297,100	0	0	0	0	△ 4,297,100	0	△ 9,653,100	5,356,000
正味財産期末残高	1,202,817,787	115,518,855	0	115,518,855	17,870,806	1,069,428,126	0	1,298,366,192	△ 95,548,405

理 事 会
第 2 号 議 案

評議員会の開催並びに議事に付すべき事項について

下記のとおり議案を提出する。

記

1 議案内容

別添、令和6年度第1回定時評議員会開催概要(案)のとおりとする。

令和6年6月11日

提 出 者 公益財団法人 東京都スポーツ文化事業団
理 事 長 塩 見 清 仁

提 案 理 由

定款第17条第1項により、評議員会は理事会の決議に基づき理事長が招集することとなっているため、理事会会議規程第10条第7号の規定に基づき、決議を求める。

令和6年度第1回定時評議員会
開催概要（案）

1 開催日時

令和6年6月27日（火）午後2時00分から

2 開催場所

東京体育館第一会議室

3 議案・議題

議決事項

第1号議案 令和5年度事業報告及び決算について

第2号議案 任期満了に伴う次期理事の選任について

第3号議案 任期満了に伴う次期監事の選任について

4 報告事項

理事候補者選任方針について

評議員選定委員会結果の報告

5 その他

6 閉会

令和6年度第1回定時評議員会における次期理事及び監事に係る候補者事務局案

理事候補者 (敬称略:五十音順)

区 分	氏 名	現 職 (令和6年6月11日現在)
再 任	延 與 桂	公益社団法人東京都障害者スポーツ協会会長
再 任	越 秀 幸	常勤
再 任	小 林 治 彦	東京商工会議所常務理事
再 任	塩 見 清 仁	常勤
新 任	上 代 圭 子	東京国際大学人間社会学部准教授
再 任	中 川 冷 子	東京都スケート連盟参与
再 任	平 野 裕 一	法政大学スポーツ健康学部名誉教授

任期 令和5年度終了後開催する定時評議員会終結の時から令和7年度終了後開催する定時評議員会終結の時まで

※ 参考 退任となる理事 (敬称略:五十音順)

区 分	氏 名	現 職 (令和6年6月11日現在)
任 期 満 了	梶 原 洋 子	文教大学名誉教授

監事候補者 (敬称略:五十音順)

区 分	氏 名	現 職 (令和6年6月11日現在)
再 任	飯 塚 幸 子	公認会計士
再 任	中 山 正 雄	日本生命保険相互会社顧問

任期 令和5年度終了後開催する定時評議員会終結の時から令和9年度終了後開催する定時評議員会終結の時まで

理 事 会
第 3 号 議 案

任期満了に伴う次期評議員候補者の推薦について

下記のとおり議案を提出する。

記

1 議案内容

別添、公益財団法人東京都スポーツ文化事業団評議員候補者名簿（案）
のとおりとする。

令和6年6月11日

提 出 者 公益財団法人 東京都スポーツ文化事業団
理 事 長 塩 見 清 仁

提 案 理 由

定款第11条第4項により、評議員選定委員会に提出する評議員候補者は、理事会又は評議員会がそれぞれ推薦することができることとなっているため、理事会会議規程第10条第8号の規定に基づき、決議を求める。

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団評議員候補者名簿(案)

(敬称略:五十音順)

区 分	氏 名	現 職 (令和6年6月11日現在)
再 任	植 田 昌 利	公益財団法人東京都サッカー協会副会長兼専務理事
再 任	小 林 健 二	東京都議会議員
再 任	四 宮 淳 司	東京都子ども会連合会理事長
再 任	白 戸 太 朗	東京都議会議員
再 任	富 田 幸 博	日本体育大学名誉教授
再 任	と や 英 津 子	東京都議会議員
再 任	野 川 春 夫	公益財団法人日本スポーツクラブ協会理事長
再 任	蓮 沼 千 秋	江戸川区教育委員会教育長
再 任	星 大 輔	東京都議会議員
新 任	水 村 真 由 美	お茶の水女子大学基幹研究院教授
再 任	宮 地 元 彦	早稲田大学スポーツ科学学術院教授
新 任	安 間 英 潮	八王子市教育委員会教育長

任期 令和5年度終了後開催する定時評議員会終結の時から令和9年度終了後開催する定時評議員会終結の時まで

※ 参考 退任となる評議員

(敬称略:五十音順)

区 分	氏 名	現 職 (令和6年6月11日現在)
任 期 満 了	武 井 正 子	順天堂大学名誉教授
任 期 満 了	丹 治 充	あきる野市教育委員会教育長

理事長及び常務理事の職務執行状況について

別紙１「理事長の職務執行状況について」及び別紙２「常務理事の職務執行状況について」のとおり

理事長の職務執行状況について

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団定款第 2 3 条第 3 項に基づき、理事長の自己の職務の執行状況について、以下のとおり報告します。

理事長として、事業団の運営に関する一般方針の立案、特に重要な事業実施についての総覧を行った。

幹部職員を招集し、各館・各部署の現状把握や運営方針等を議論する経営会議や事業団の団体経営やコンプライアンスに係る業務を統括した。

また、事業団を代表する立場として、理事会など法人の運営に必要な会議や主催事業、東京都への説明の場などに出席した。

【主な会議・事業等（令和 6 年度）】

- 経営会議（計 3 回）
- 理事会（計 1 回）
- 監事及び監査法人による監査への対応
- 生活文化スポーツ局長に対する事業・決算報告
- プライバシーマーク更新審査における審査機関との意見交換
- 2024 東京国際ユース（U-14）サッカー大会

令和 6 年 6 月 1 1 日
東京都スポーツ文化事業団
理事長 塩 見 清 仁

常務理事の職務執行状況について

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団定款第２３条第３項に基づき、常務理事の自己の職務の執行状況について、以下のとおり報告します。

業務執行理事として、理事会、評議員会をはじめ、経営会議やコンプライアンス委員会等に出席するとともに、重要な事業や契約に関する意思決定を行うなど、円滑に団体業務を遂行した。

デフリンピック準備運営本部長として、国の指針や都のガイドラインを踏まえ構築したガバナンス体制のもと、新規着任者へのコンプライアンス教育等の取組を行った。また、大会に向けた詳細プランニングフェーズとして、令和５年度に策定した開催基本計画の具体化や財源確保等の開催準備を進めている。

【主な会議・事業等（令和６年度）】

- 経営会議（計３回）
- 理事会（計１回）
- 監事及び監査法人による監査への対応
- 生活文化スポーツ局長に対する事業・決算報告
- 2024 東京国際ユース（U-14）サッカー大会
- デフリンピック準備運営本部 コンプライアンス委員会（計１回）
- デフリンピック準備運営本部 利益相反マネジメント委員会（計１回）
- デフリンピック準備運営本部 コンプライアンス研修の実施（計５回）
- 東京 2025 デフリンピック クラウドファンディングの募集開始

令和６年６月１１日
東京都スポーツ文化事業団
常務理事 越 秀 幸

デフリンピックスクエアについて

デフリンピックスクエアを国立オリンピック記念青少年総合センター(NYC)に設置

デフリンピックスクエア

- 大会運営本部、輸送のハブ、メディアセンター、練習会場等の機能をもつ大会運営拠点
- 新技術を活用したユニバーサルコミュニケーションや交流、文化鑑賞等、選手向けの様々なサービスを提供

○ **NYC**は上記に対応する施設を保有し、様々な場を一度に提供できることから、**事業を効果的に展開可能**

デフリンピックスクエアをNYCに設置。大会を成功させ、誰もが個性を活かし力を発揮できる共生社会の実現に貢献

<名称・場所>

日	名称	デフリンピックスクエア
	場所	国立オリンピック記念青少年総合センター
英	名称	Deaflympics Square
	場所	National Olympics Memorial Youth Center



オリンピックセンター（センター棟）

各地の
キャラクターによる

東京 2025 デフリンピック応援隊を結成

～各地のキャラクターがデフリンピックを盛り上げる！～

東京 2025 デフリンピックを多くの方々が応援し、大会に親しみを持ってもらえるよう、各自治体等のキャラクターによる「東京 2025 デフリンピック応援隊」を結成します。東京 2025 デフリンピック応援隊は、各地で大会に向けた気運醸成やデフアスリートを応援し、大会を盛り上げます。また、都のスポーツ推進大使である「ゆりーと」は、東京 2025 デフリンピック公式マスコットとして先頭に立って活躍します。

記

1 東京 2025 デフリンピック応援隊について

東京 2025 デフリンピック応援隊では、都のスポーツ推進大使ゆりーとが先頭に立って大会を盛り上げていきます。各地方自治体等のキャラクターに「東京 2025 デフリンピック応援隊」として参加いただき、各地での大会広報や気運醸成、デフアスリートの応援に協力いただきます。

○ 応援隊の紹介

すでに応援隊の活動に賛同いただいたキャラクターたちを紹介します。今後も応援隊に参加いただくキャラクターを募集していきます。

応援隊の応募については、以下をご覧ください。

<https://www.sports-tokyo-info.metro.tokyo.lg.jp/tokyoforward2025/mascot>

ふくしまを応援する 「ベコ太郎」 	静岡県イメージキャラクター ふじっぴー 	府中市マスコットキャラクター ふちゅこま 	東京都スポーツ文化事業団マスコットキャラクター-SUSIE（スージー） 
自ら積極的にふくしまを応援する、「赤べこ」をモチーフにしたキャラクター。デフリンピックを手話で応援したくて、密かに練習しているよ！	静岡県 PR 隊として、静岡県の魅力を PR するため、幅広く活動しています。たくさんの人とお友達になって、みんなと一緒にデフリンピックを盛り上げたいな！	府中市の魅力を全国に発信するために誕生。大國魂神社が所蔵する国指定重要文化財の木造狛犬をベースに、市のモチーフを使ったデザインが特徴です。	皆さんにもっとスポーツを楽しんでもらい、体も心も健康になって毎日をキラキラさせて欲しい！そんな思いから生まれたキャラクターです。

○ 東京 2025 デフリンピック公式マスコットについて

東京 2025 デフリンピック応援隊による盛り上げに加えて、都のスポーツ推進大使である「ゆりーと」を東京 2025 デフリンピック公式マスコットとして任命します。公式マスコットは、デフリンピック応援隊の先頭に立って大会広報や気運醸成を行うほか、大会運営においても活躍していきます。

【東京 2025 デフリンピック公式マスコットゆりーと】



・「ゆりーと」とは

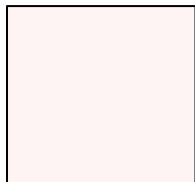
スポーツ祭東京 2013 のキャラクターとして誕生し、その後も東京都スポーツ推進大使として都のスポーツイベント等で幅広く活躍しています。

・ゆりーとデフリンピックデザインについて

「桜の花弁」がモチーフとなっている大会エンブレムとの統一感を生む桜色を用いた T シャツをゆりーとに着用させました。

＜大会メインカラーについて＞

桜色は日本の伝統色であり、「桜（ソメイヨシノ）」は都の花として指定され、また、日本をイメージさせる花としても国内外で広く認知されています。今後、大会では桜色を大会メインカラーとして使用していきます。



桜色（さくらいろ）

（参考）カラーコード #fef4f4

Red:254 Green:244 Blue:244

2 東京 2025 デフリンピック応援隊・東京 2025 デフリンピック公式マスコットのお披露目について

6月29日（土）に行われるデフリンピックの選手発掘のためのトライアウトで、東京 2025 デフリンピック応援隊の結成・東京 2025 デフリンピック公式マスコットの任命式を行います。当日は、応援隊として以下のキャラクターが駆け付けます。

当日の詳細は別添の「デフアスリートの国際総合スポーツ競技大会「デフリンピック」応援企画を実施します！ーデフリンピアンやデフリンピック応援隊・公式マスコット等と交流しようー」をご確認ください。

- (1) 日時 6月29日(土) 13時から13時30分まで
- (2) 場所 郷土の森総合体育館(府中市立総合体育館)
(東京都府中市矢崎町5丁目5番地)
- (3) 参加キャラクター
東京2025デフリンピック公式マスコット ゆりーと
ふくしまを応援する「ベコ太郎」
静岡県イメージキャラクター ふじっぴー
府中市マスコットキャラクター ふちゅこま
東京都スポーツ文化事業団マスコットキャラクター SUSIE(スージー)

本事業は、「推しスポーツProject」の一環です。

「推しスポーツProject」とは、2025年に東京で開催される世界陸上・デフリンピックの開催を機に、都民が様々なスポーツに親しむ機会を創出し、スポーツの魅力に触れる中で、「都民一人ひとりの好みや特性に合ったスポーツの楽しさ(推しスポーツ)」を発見してもらえるよう支援する取組です。

【問合せ先】

東京都生活文化スポーツ局国際スポーツ事業部事業調整第二課 濱野

電話：03-5388-3842(都庁内線：38-026)

理事候補者選任方針について

1 背景

当事業団は、新たにデフリンピックの開催に関わるなど、都民のスポーツの普及・振興を図る団体として、より適切な運営体制を確保していくため、公益法人やスポーツ団体等のガバナンスコードに示されている役員就任時の年齢制限、再任回数、性別割合、外部理事の割合などを参考に、当事業団の役員の選任の在り方について検討する必要がある。

なお、スポーツ庁のガバナンスコードでは理事について、就任時の年齢制限や再任回数の上限（原則 10 年）の設定、外部理事の割合（25%以上）目標、女性理事の目標（40%以上）割合などが示されている。

2 選任方針検討に当たっての考え方

当事業団は、広くスポーツの普及・振興を図るために必要な事業・施策を実施する法人であり、役員は、これらに関連する見識等のある人物を当事業団の外部から選任している。

こうした事業団の特性を踏まえて、就任時の年齢制限や再任回数、性別割合などについて、選任方針を検討していく。

3 本方針の位置づけ・決定方法等

事務局における理事候補者を選定する際の方針として、理事会・評議員会に報告したうえで、理事長が定める。

4 その他

本方針に基づく対応内容について、国の指針やガバナンスコードのセルフチェックシートにより公表していく。